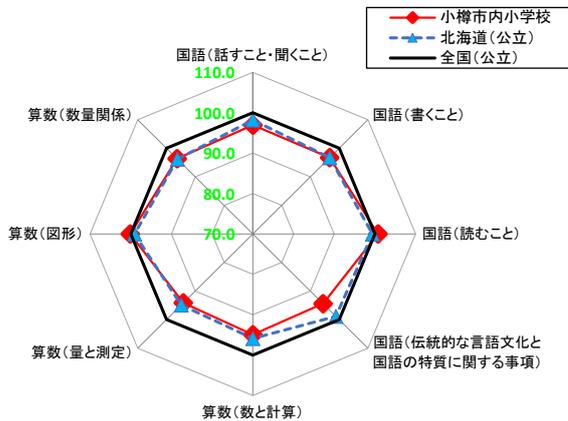


■小樽市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:18校、児童数:705人)

【教科全体の状況】

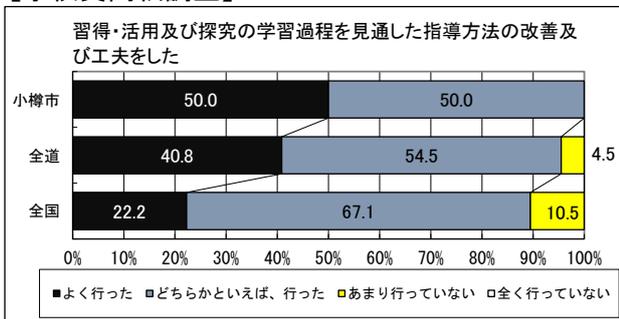
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



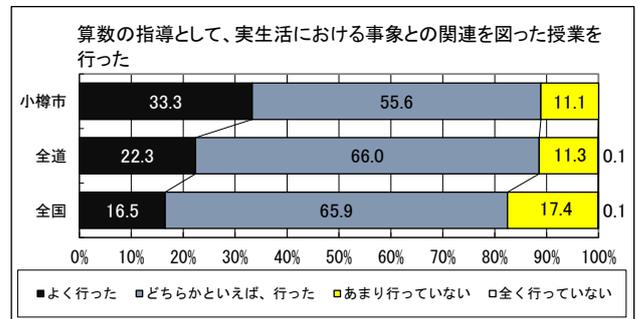
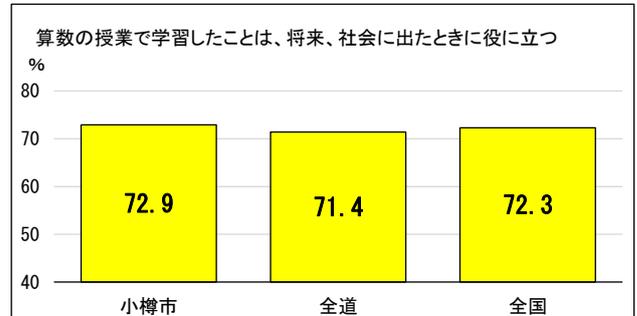
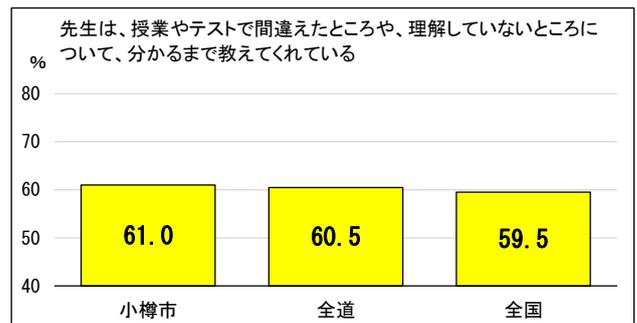
〈小樽市内小学校の平均正答率〉

国語	算数
62	64

【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「読むこと」で全国を上回っており、「書くこと」で全道とほぼ同様になっている。 ○ 算数では、「図形」で全国を上回り、「数量関係」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたことにより、国語の「読むこと」で全国を上回り、「書くこと」で全道とほぼ同様の結果につながったと考えられる。 ○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が全国を上回るとともに、算数の「図形」で全国を上回り、「数量関係」で全道を上回る結果につながったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

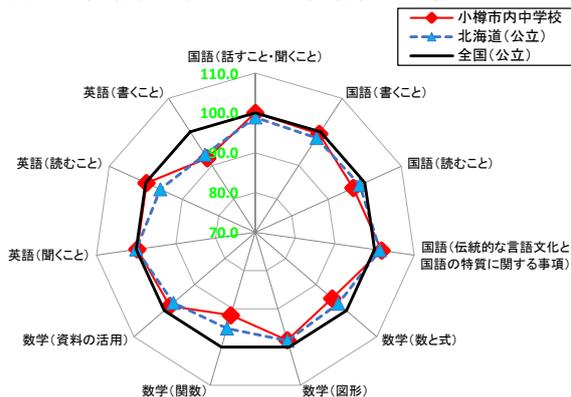
【小樽市の学力向上策】

- ◎ 家庭学習の習慣化を目指す「音読」の取組の推進と音読の質の向上に向けた「音読カップ」の開催
- ◎ 「学力向上改善プラン」における、各学年の定着目標の設定及び基礎学力の定着を図る学期末等の確認テストの実施
- ◎ 「樽っ子学校サポート事業」など外部人材を活用した放課後や長期休業中における学習活動の工夫
- ◎ 児童生徒及び保護者の進路選択に対する関心等を高める「進路説明会」の実施
- ◎ 「学力向上検討委員会」を設置し、授業づくりのポイントをまとめた冊子を配付するとともに学力向上研修会を実施
- ◎ 市内全ての小学校第3学年、第5学年を対象とした標準学力調査を実施し、その結果を活用した授業改善

■小樽市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:12校、生徒数:700人)

【教科全体の状況】

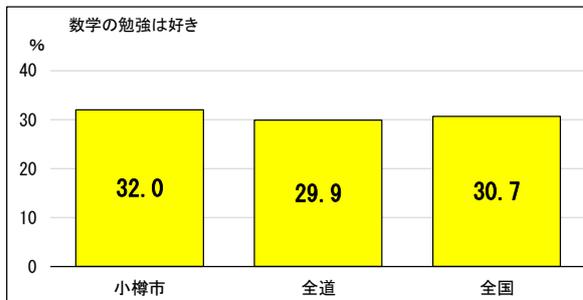
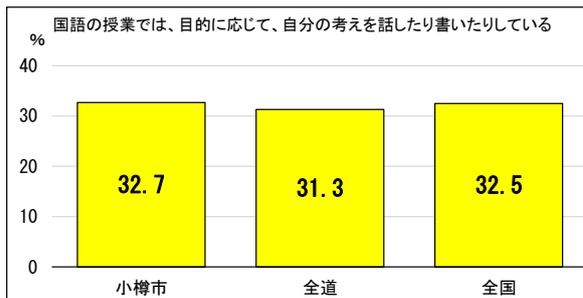
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



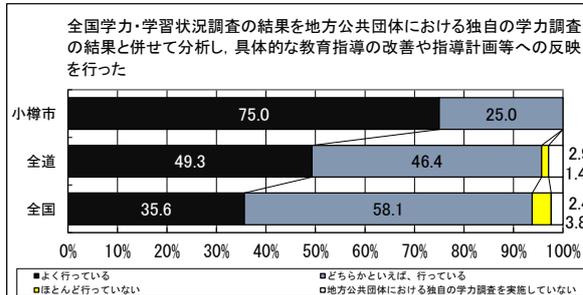
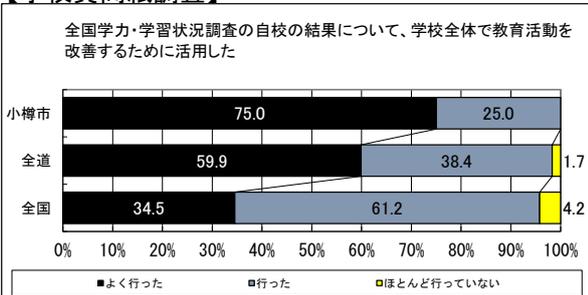
〈小樽市内中学校の平均正答率〉

国語	数学	英語
72	58	54

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回り、「話すこと・聞くこと」で全国と同じ、「書くこと」で全道を上回っている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全道を上回り、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「読むこと」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行ったことにより、授業改善が図られ、「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、数学の「資料の活用」で全道を上回る結果につながったと考えられる。

【小樽市の学力向上策】

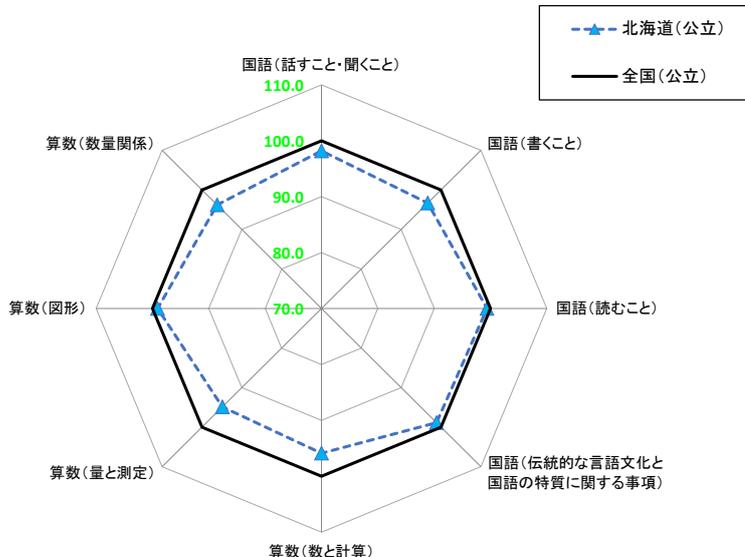
- ◎ 家庭学習の習慣化を目指す「音読」の取組の推進と音読の質の向上に向けた「音読カップ」の開催
- ◎ 「学力向上改善プラン」における、各学年の定着目標の設定及び基礎学力の定着を図る学期末等の確認テストの実施
- ◎ 「樽っ子学校サポート事業」など外部人材を活用した放課後や長期休業中における学習活動の工夫
- ◎ 児童生徒及び保護者の進路選択に対する関心等を高める「進路説明会」の実施
- ◎ 「学力向上検討委員会」を設置し、授業づくりのポイントをまとめた冊子を配付するとともに学力向上研修会を実施
- ◎ 市内全ての中学校第2学年を対象とした標準学力調査を実施し、その結果を活用した授業改善

■ 島牧村内小学校の状況及び学力向上策 (学校数:1校、児童数:5人)

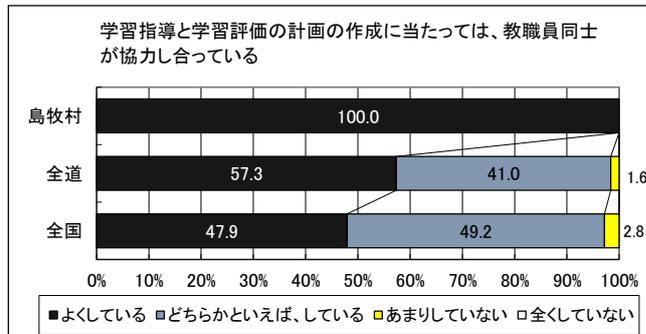
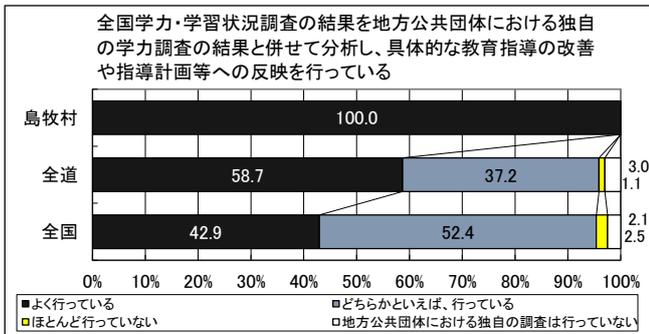
※児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、島牧村の教科及び児童質問紙のデータは掲載していない。

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、島牧村の教科データは掲載していない。	
児童質問紙	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、島牧村の児童質問紙データは掲載していない。	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と合わせて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映をよく行った。 ○ 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士がよく協力し合った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と合わせて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行ったり、学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合ったりしたことにより、学校全体としての授業改善が進んだと考えられる。

【島牧村の学力向上策】

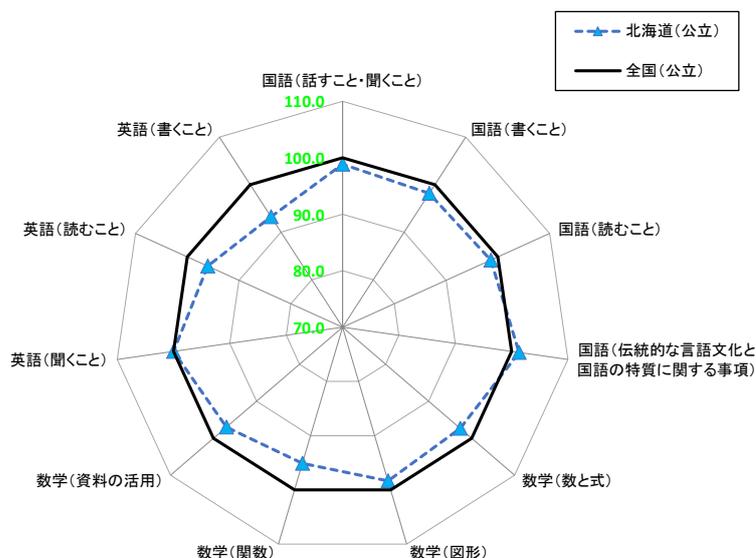
- ◎ 朝や放課後及び長期休業中の学習サポートの充実
- ◎ ICT機器を活用した「分かる授業づくり」の推進
- ◎ 単式学級維持のための村独自の教員配置

■ 島牧村内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、生徒数: 10人)

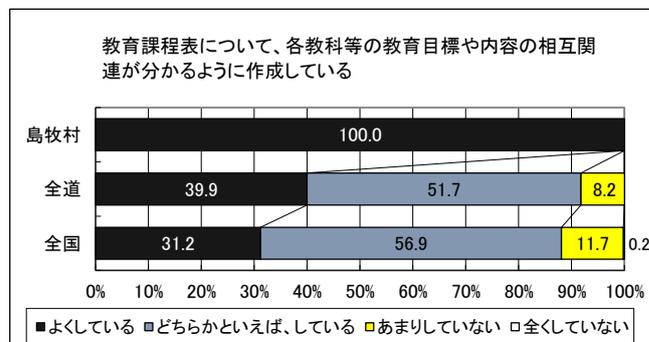
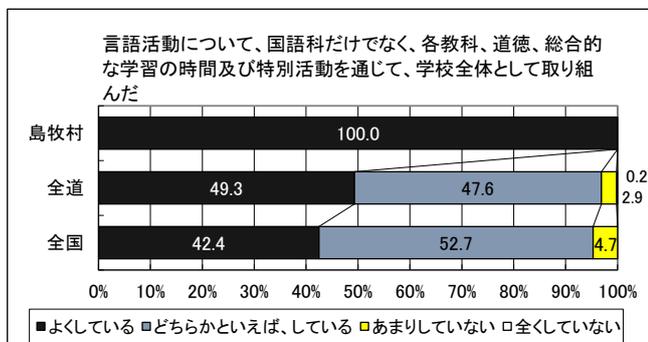
※生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、島牧村の教科及び生徒質問紙のデータは掲載していない。

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、島牧村の教科データは掲載していない。
生徒質問紙	※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、島牧村の生徒質問紙データは掲載していない。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ。 ○ 教育課程表について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成した。

【島牧村の学力向上策】

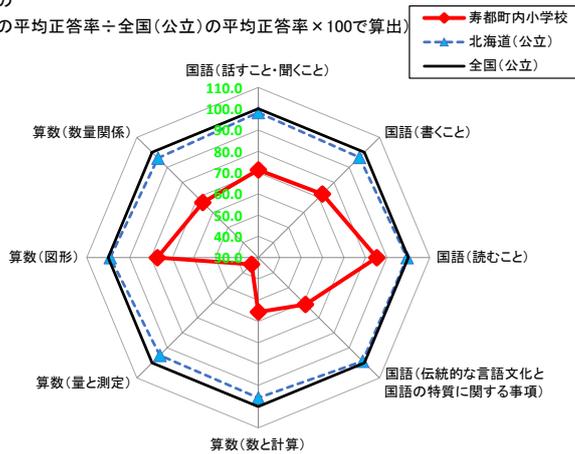
- ◎ 朝や放課後及び長期休業中の学習サポートの充実
- ◎ ICT機器を活用した「分かる授業づくり」の推進
- ◎ 単式学級維持のための村独自の教員配置

■寿都町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:11人)

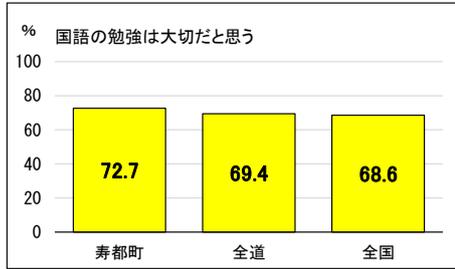
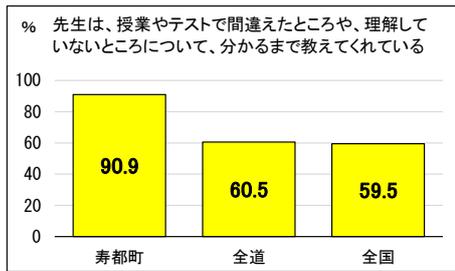
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

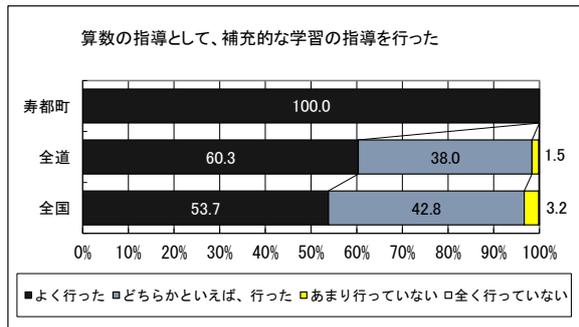
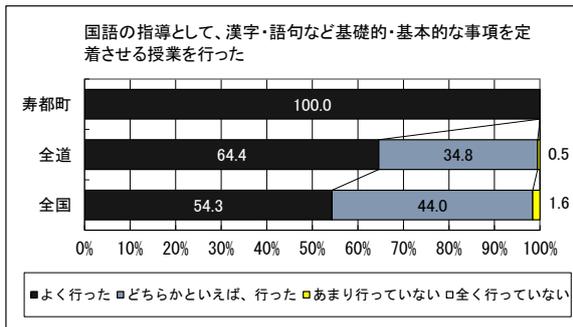
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったことにより、「国語の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回り、国語の「読むこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回り、算数の「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

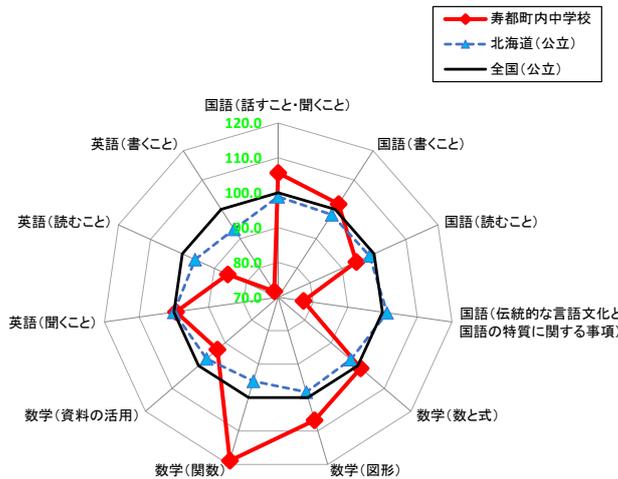
【寿都町の学力向上策】

- ◎ 校内組織である学力向上委員会が中心となった学習環境の整備
- ◎ 学習支援員の配置による、習熟度別少人数指導等の指導方法の工夫
- ◎ 放課後及び長期休業中の学習サポートの実施
- ◎ 情報通信機器の活用及び地域素材の教材化による体験的な学習の充実
- ◎ 家庭学習の手引や生活リズム調査による家庭学習習慣の定着を図る取組の推進
- ◎ コミュニティ・スクールの取組による地域全体で子どもたちを育てていく体制の整備
- ◎ 小中高連携推進委員会による全町的な課題分析と改善に向けた取組の推進
- ◎ 全町での土曜授業の実施及び地域の人材を有効に活用した学習の充実

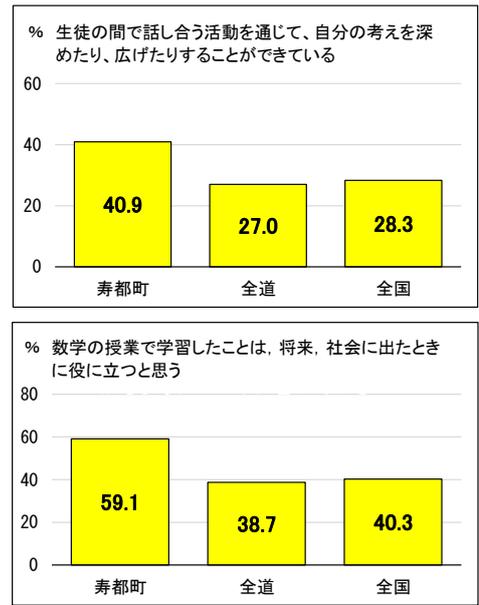
■寿都町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:22人)

【教科全体の状況】

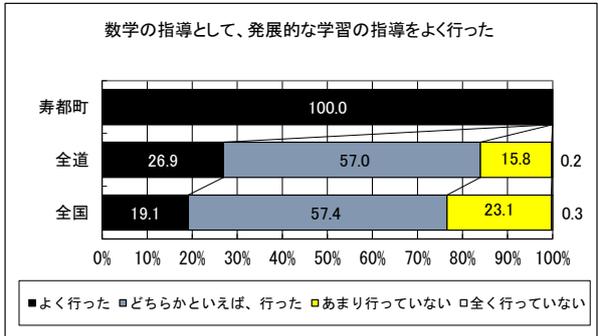
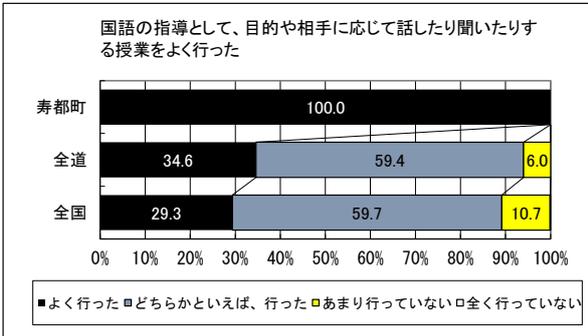
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「関数」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行ったことにより、「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている」と回答した生徒の割合が全国を上回り、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、発展的な学習の指導をよく行ったことにより、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回り、数学の「数と式」「図形」「関数」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 ○ 数学の指導として、発展的な学習の指導をよく行った。 	

【寿都町の学力向上策】

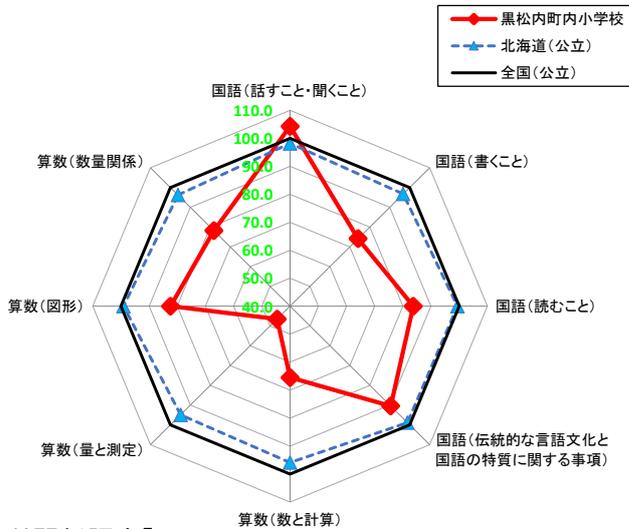
- ◎ 校内組織である学力向上委員会が中心となった学習環境の整備
- ◎ 学習支援員の配置による、習熟度別少人数指導等の指導方法の工夫
- ◎ 放課後及び長期休業中の学習サポートの実施
- ◎ 情報通信機器の活用及び地域素材の教材化による体験的な学習の充実
- ◎ 家庭学習の手引や生活リズム調査による家庭学習習慣の定着を図る取組の推進
- ◎ コミュニティ・スクールの取組による地域全体で子どもたちを育てていく体制の整備
- ◎ 小中高連携推進委員会による全町的な課題分析と改善に向けた取組の推進
- ◎ 全町での土曜授業の実施及び地域の人材を有効に活用した学習の充実

■ 黒松内町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:19人)

【教科全体の状況】

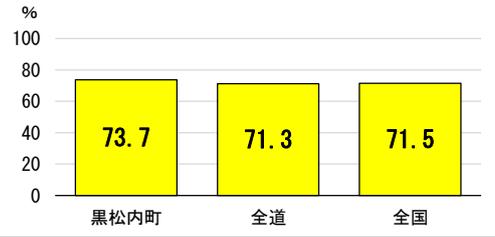
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】

家で自分で計画を立てて勉強をしている(「している」「どちらかといえば、している」)

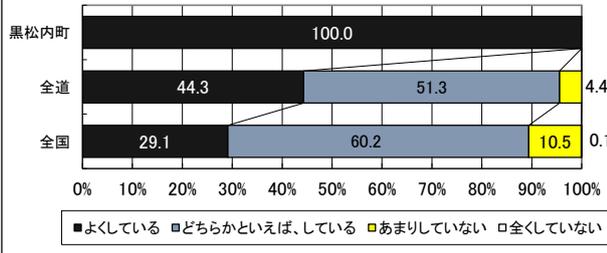


算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」)

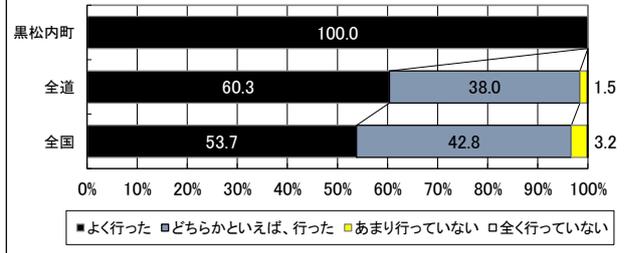


【学校質問紙調査】

総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている



算数の指導として、補充的な学習の指導を行った



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」で全国平均に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語科だけではなく、他教科や総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしたことにより、児童の表現力等が高まり、国語では、「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回るとともに、算数では、「図形」で全国平均に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

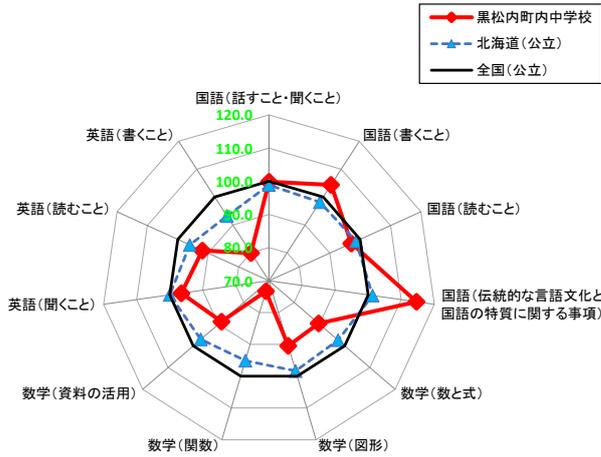
【黒松内町の学力向上策】

- ◎ 国際交流協力員による外国語活動や英会話教室の実施、町独自のイングリッシュキャンプの開催
- ◎ 児童の実態に応じたICTを活用した授業づくりの推進

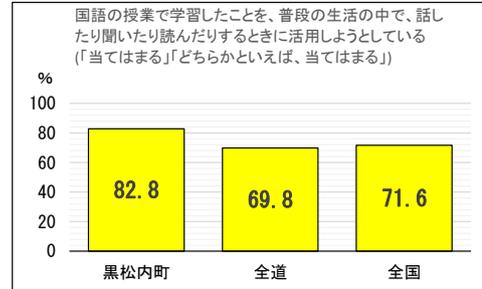
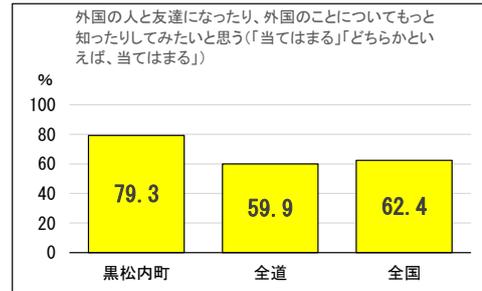
■黒松内町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:29人)

【教科全体の状況】

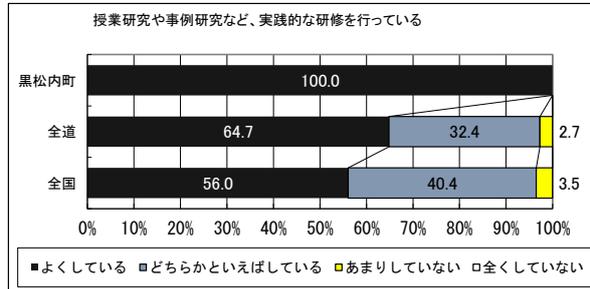
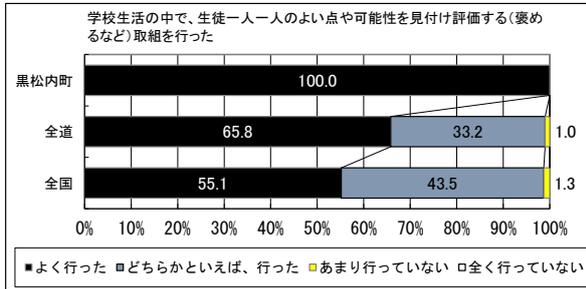
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「書くこと」で全国を上回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行ったことにより、生徒は自己肯定感を高め、「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、英語では、「聞くこと」で全国平均に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり読んだりするときに活用しようとしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行ったことにより、授業改善が図られ、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり読んだりするときに活用しようとしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

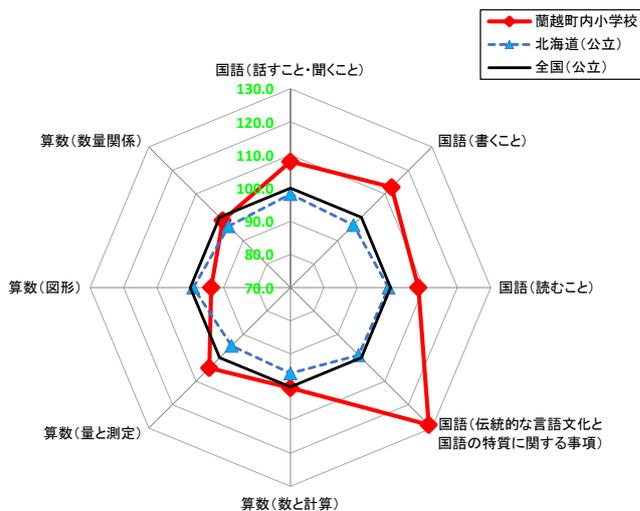
【黒松内町の学力向上策】

- ◎ 学力の定着と学習意欲の向上のための町営塾の運営
- ◎ 国際交流協力員による外国語活動や英会話教室の実施、町独自のイングリッシュキャンプの開催
- ◎ 生徒の実態に応じたICTを活用した授業づくりの推進

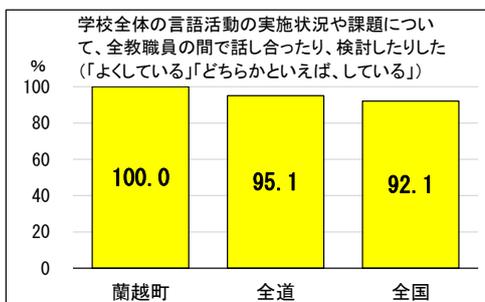
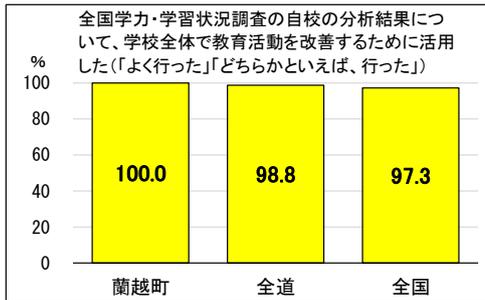
■ 蘭越町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:32人)

【教科全体の状況】

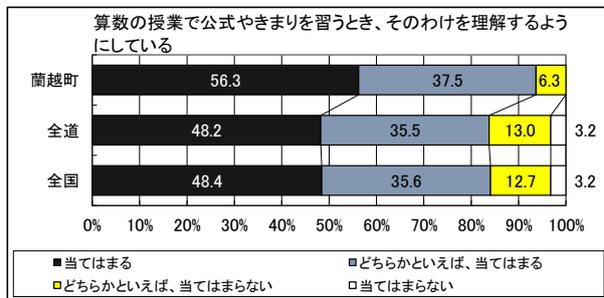
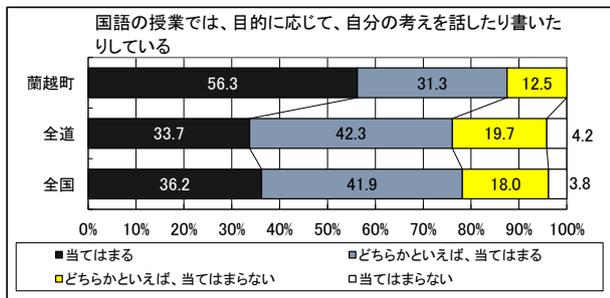
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」「量と測定」で全国を上回り、「数量関係」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用し、授業改善が図られたことにより、国語では、全ての領域で、算数では、「数と計算」「量と測定」で全国を上回り、「数量関係」で全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりし、各教科において言語活動の充実が図られたことにより、「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

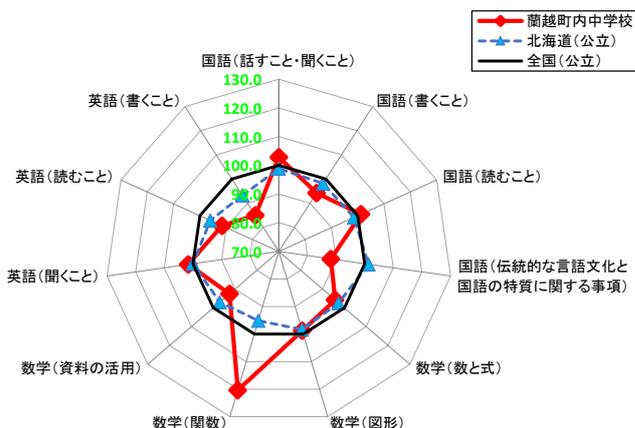
【蘭越町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、授業改善や児童の学習への関心や意欲を高める取組の支援
- ◎ 特別支援教育支援員の配置による学習支援
- ◎ 児童の習熟の程度に応じた指導の強化ときめ細かな学習指導の充実

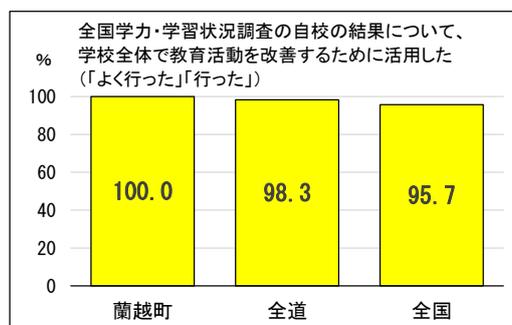
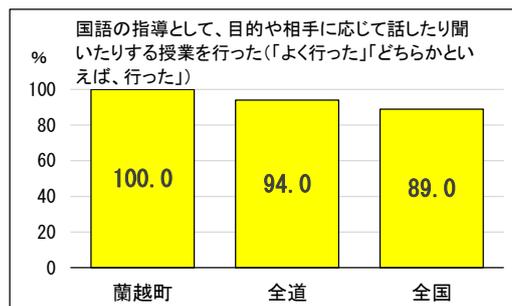
■ 蘭越町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、生徒数: 36人)

【教科全体の状況】

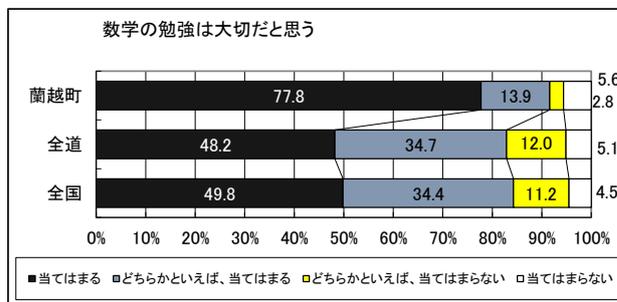
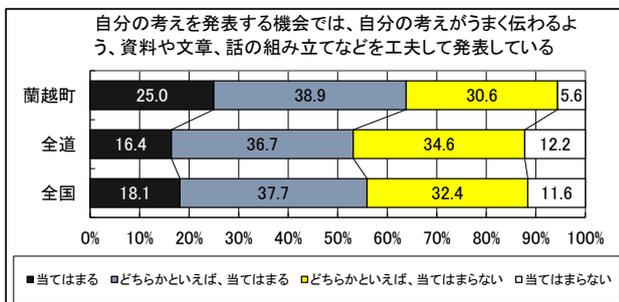
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「関数」で全国を上回り、「図形」で全道を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用し、各教科で授業改善が図られたことにより、「数学の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が全国を上回り、国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で、数学では、「関数」で、英語では、「聞くこと」で全国を上回り、数学では、「図形」で全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 ○ 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するためによく活用した。 	

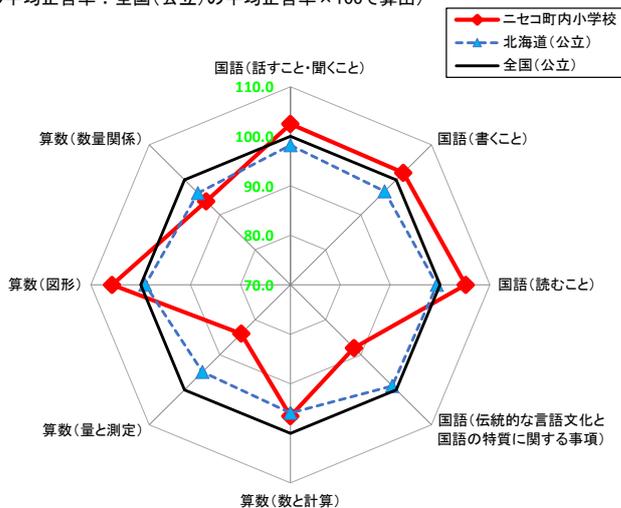
【蘭越町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、授業改善や生徒の学習への関心や意欲を高める取組の支援
- ◎ 特別支援教育支援員の配置による学習支援
- ◎ 生徒の習熟の程度に応じた指導の強化ときめ細かな学習指導の充実

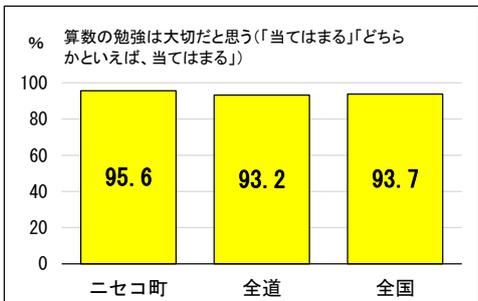
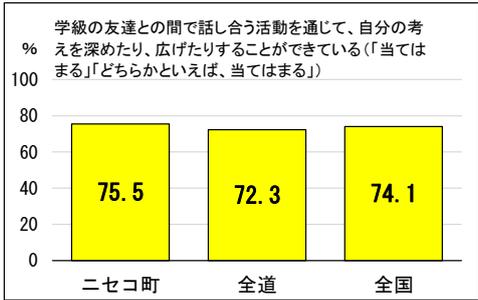
■ニセコ町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:45人)

【教科全体の状況】

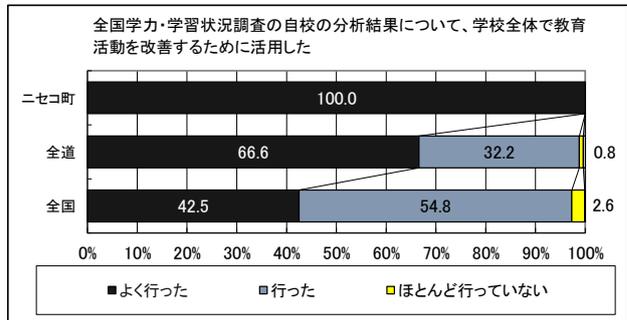
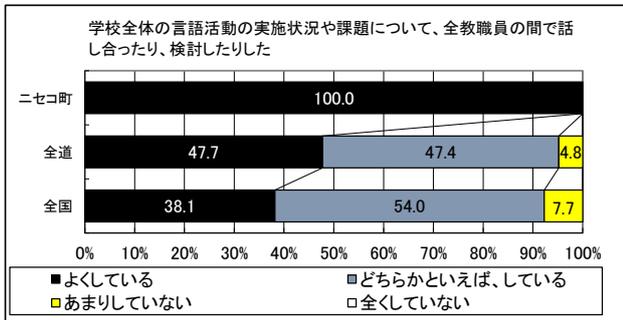
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」で全国を上回り、「数と計算」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、言語活動が充実し、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童の割合が、全国を上回るとともに、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回るにつながったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、授業改善が図られ、「算数の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回るとともに、算数の「図形」で全国を上回るにつながったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

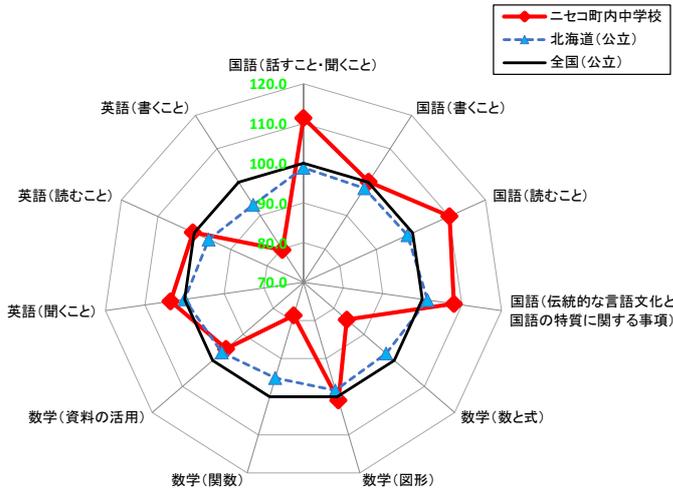
【ニセコ町の学力向上策】

- ◎ ニセコスタイルの一貫教育の推進
- ◎ T・T指導や習熟度別少人数指導、ICTの有効活用など多様な指導方法の工夫
- ◎ スクールコーディネーターによる指導方法などへの支援

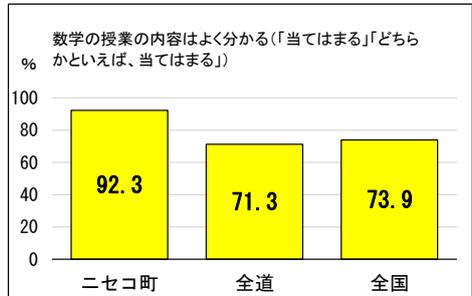
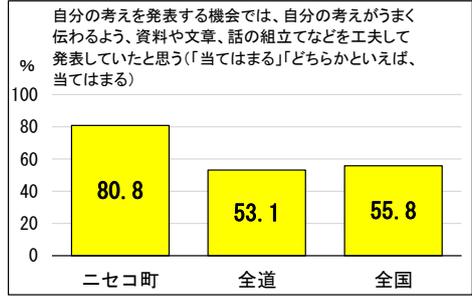
■ニセコ町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:26人)

【教科全体の状況】

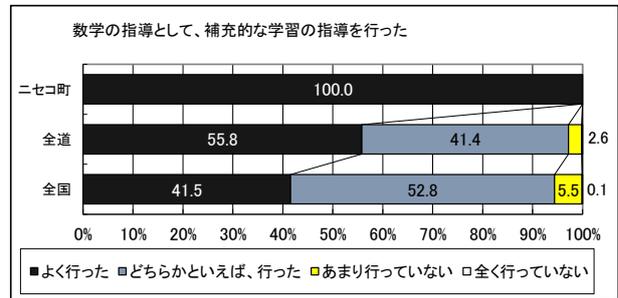
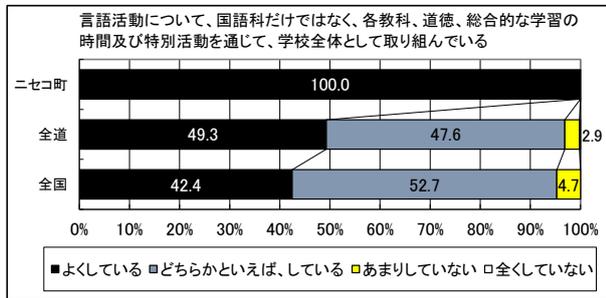
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「図形」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語の全ての領域、英語では、「聞くこと」「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、数学では、「図形」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる。 ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った。 	

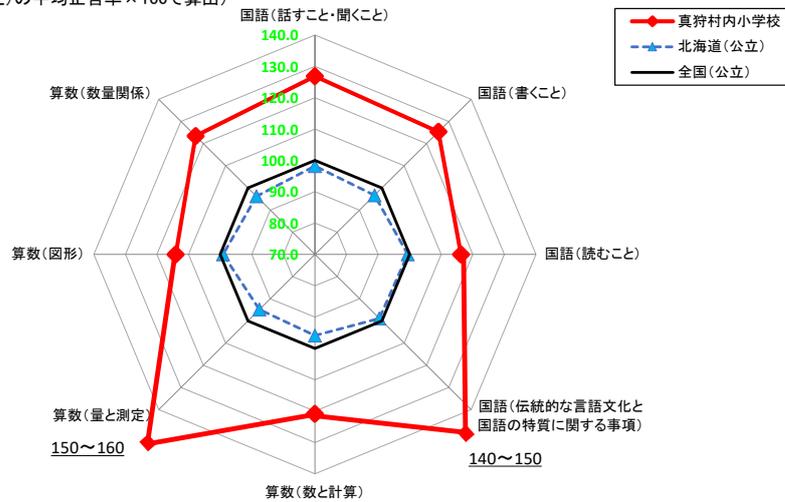
【ニセコ町の学力向上策】

- ◎ ニセコスタイルの一貫教育の推進
- ◎ T・T指導や習熟度別少人数指導、ICTの有効活用など多様な指導方法の工夫
- ◎ スクールコーディネーターによる指導方法などへの支援

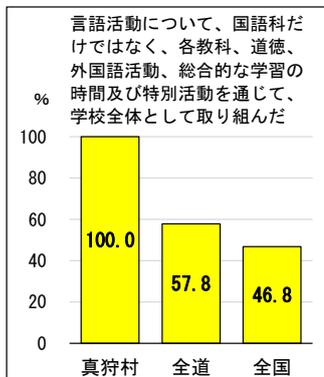
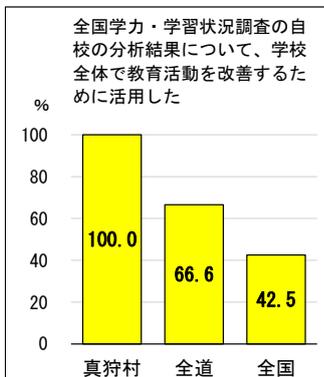
■真狩村内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:20人)

【教科全体の状況】

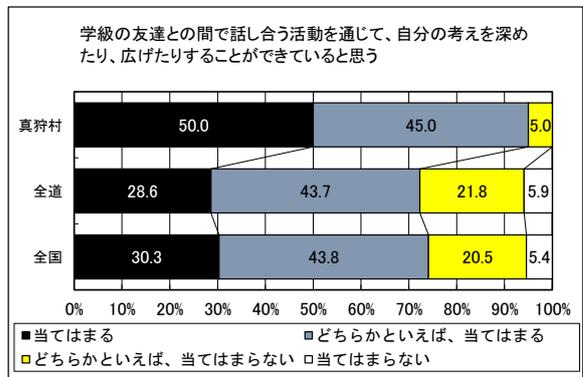
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、国語及び算数の全ての領域において、全国を上回ったと考えられる。 ○ 言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

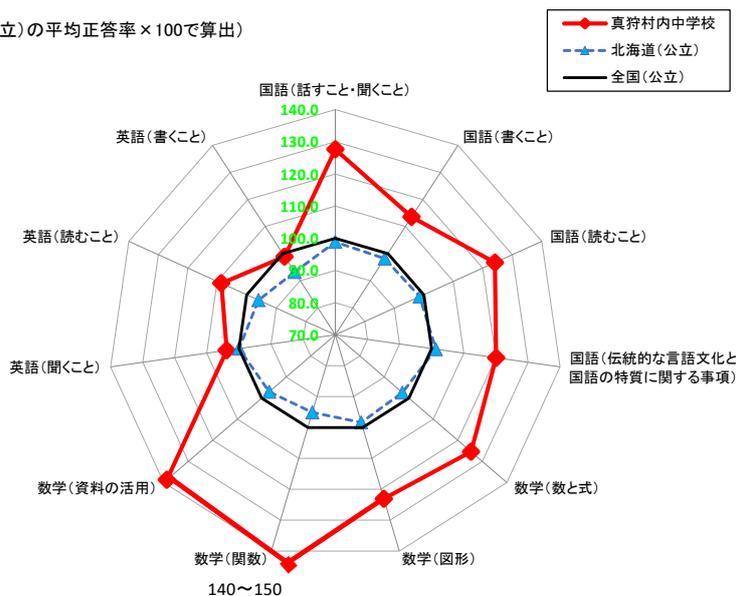
【真狩村の学力向上策】

- ◎ タブレットパソコンの設置などICT環境の整備
- ◎ 反復演習や長期休業中の補習、振り返りの授業の充実
- ◎ 地域の活力・素材を活用した体験的で探究的な学習の推進

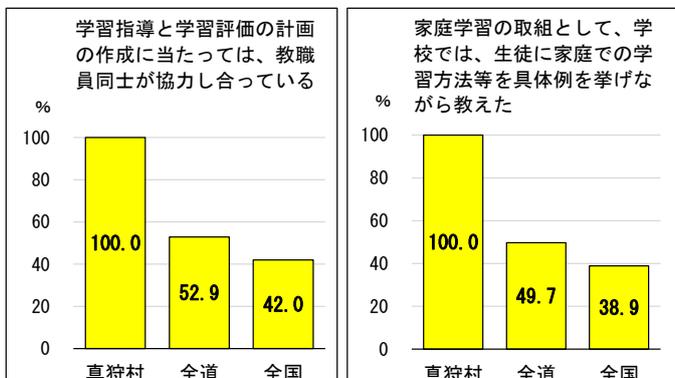
■真狩村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:16人)

【教科全体の状況】

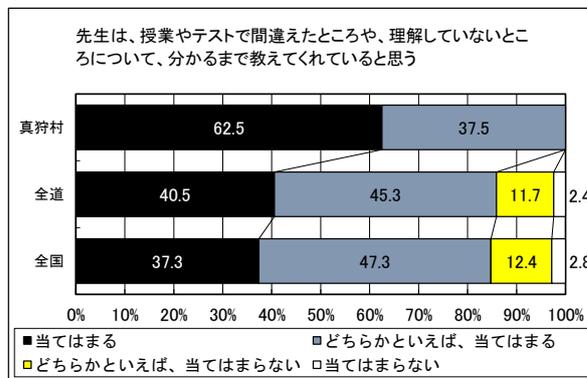
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合い、授業改善に努めたことにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語及び数学の全ての領域、英語の「聞くこと」「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えたことにより、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考える。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力した。 ○ 家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた。 	

【真狩村の学力向上策】

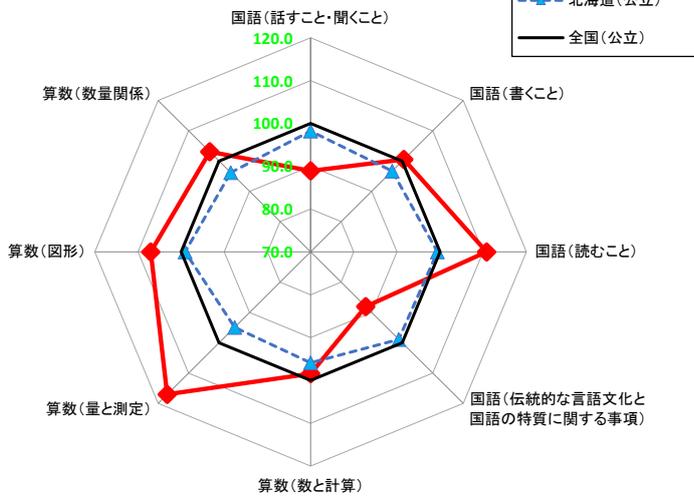
- ◎ タブレットパソコンの設置などICT環境の整備
- ◎ 反復演習や長期休業中の補習、振り回りの授業の充実
- ◎ 地域の活力・素材を活用した体験的で探究的な学習の推進

留寿都村内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:14人)

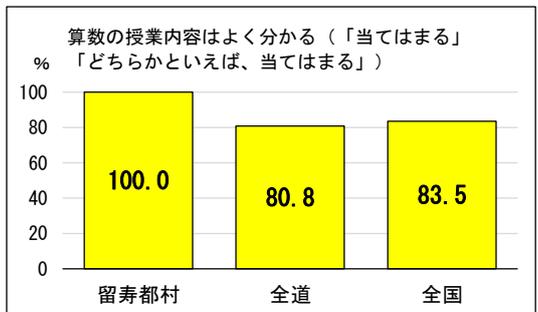
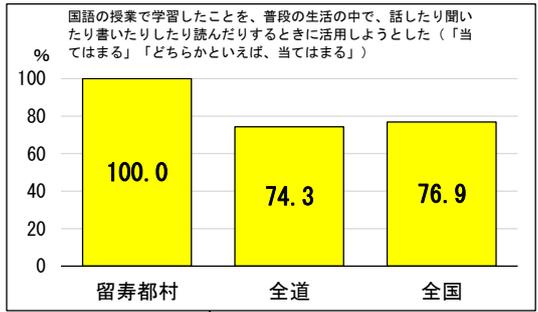
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

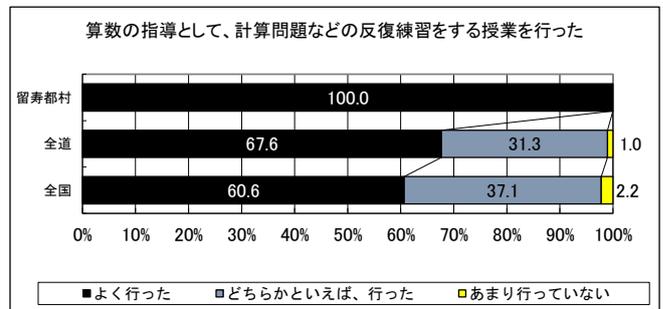
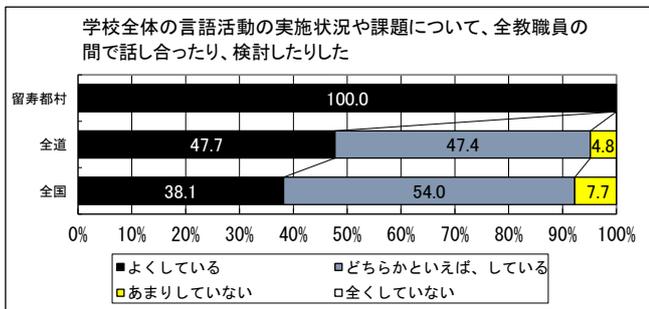
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「量と測定」「図形」「数量関係」で全国を上回り、「数と計算」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、各教科で言語活動の充実が図られ、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとした」と回答した児童の割合が、全国を上回るとともに、国語では、「書くこと」「読むこと」で全国を上回ることに繋がったと考えられる。 ○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った結果、「算数の授業内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回るとともに、算数では、「量と測定」「図形」「数量関係」で全国を上回り、「数と計算」で全道を上回ることに繋がったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとした」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりした。 ○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った。 	

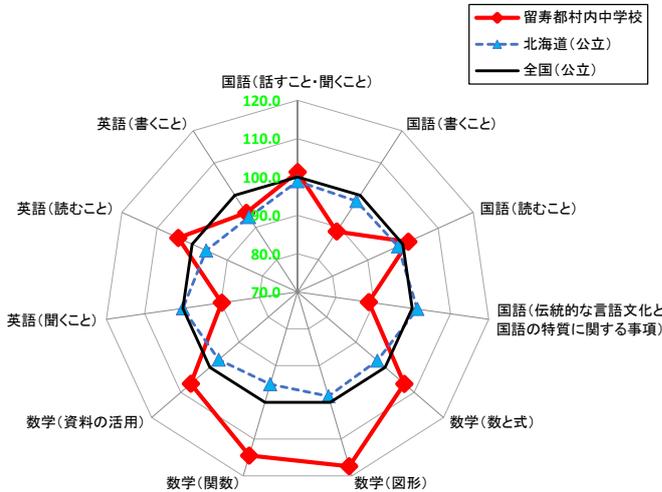
【留寿都村の学力向上策】

- ◎ 学習支援員の配置による習熟度別少人数指導の工夫・改善
- ◎ 地域学校協働本部と連携した地域素材の教材化によるふるさと学習の推進
- ◎ 教職員による自己評価や保護者、児童アンケート等の学校関係者評価による教育活動全体の点検・見直し

留寿都村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:15人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

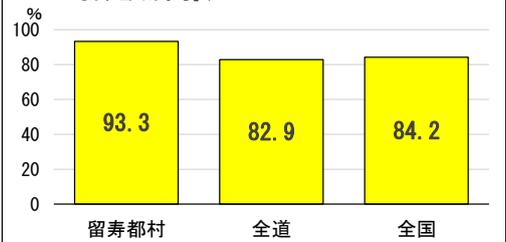


【生徒質問紙調査】

授業やテストで間違えたところや、理解していないことについて、分かるまで教えてくれていると思う(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」)

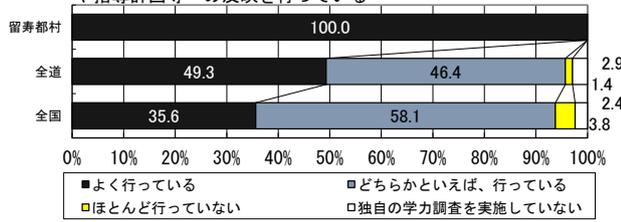


数学の勉強は大切だと思う(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」)

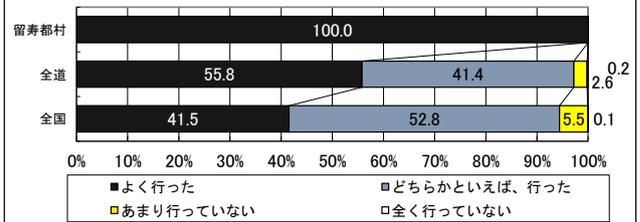


【学校質問紙調査】

全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている



数学の指導として、補充的な学習の指導を行った



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「読むこと」で全国を上回り、「書くこと」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行ったことにより、「授業やテストで間違えたところや、理解していないことについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」、数学では、全ての領域、英語では、「読むこと」で全国を上回り、英語の「書くこと」で全道を上回る結果につながったと考えられる。 ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行い、一人一人に丁寧な指導を心がけたことにより、「数学の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が全国を上回るとともに、数学では、全ての領域で全国を上回る結果につながったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業やテストで間違えたところや、理解していないことについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った。 ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った。 	

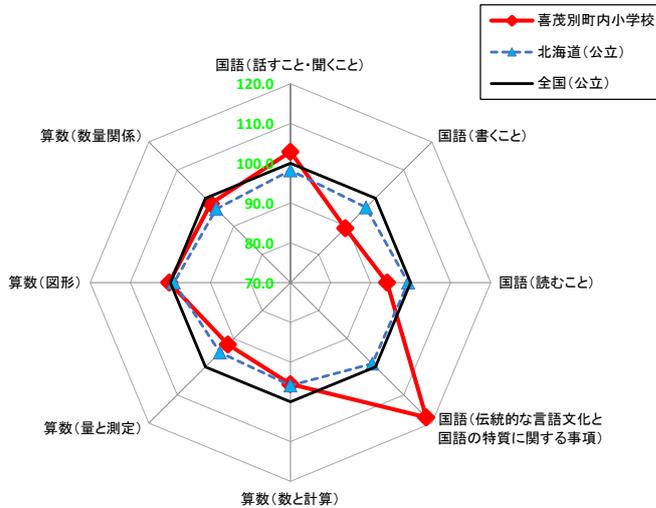
【留寿都村の学力向上策】

- ◎ 学習支援員の配置による習熟度別少人数指導の工夫・改善
- ◎ 地域学校協働本部と連携した地域素材の教材化によるふるさと学習の推進
- ◎ 教職員による自己評価や保護者、生徒アンケート等の学校関係者評価による教育活動全体の点検・見直し

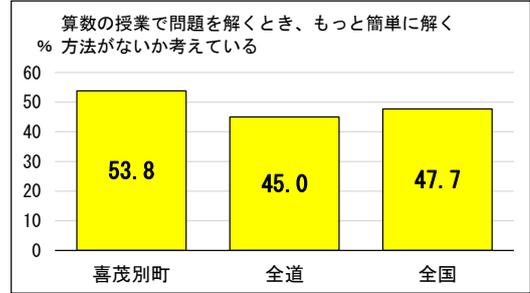
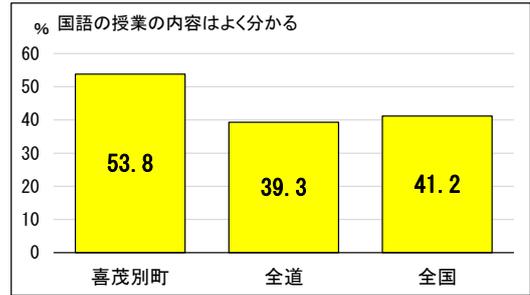
■喜茂別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:13人)

【教科全体の状況】

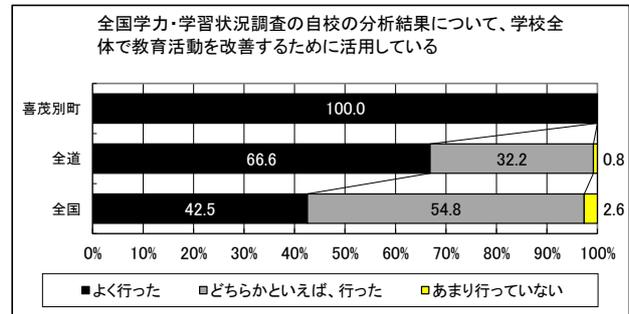
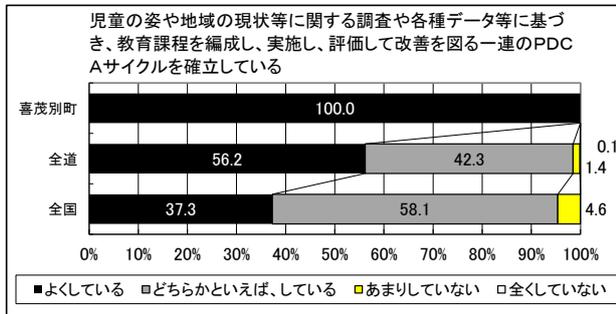
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」で全国を上回り、「数量関係」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立し、授業改善が図られたことにより、「国語の授業の内容はよく分かる」「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用し、授業改善が図られたことにより、国語では、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、算数では、「図形」で全国を上回り、「数量関係」で全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

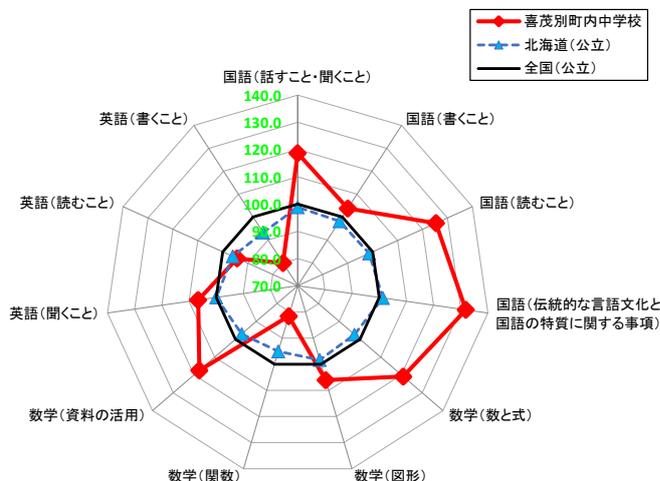
【喜茂別町の学力向上策】

- ◎ 学力や学習状況の把握・分析に基づく指導方法の改善
- ◎ 読書感想文コンクールによる読書活動の促進
- ◎ ICTを活用した授業づくりの実践・研究の推進

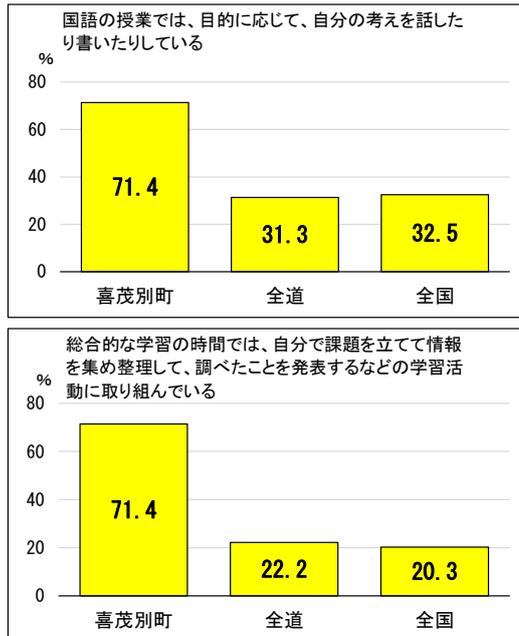
■喜茂別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:14人)

【教科全体の状況】

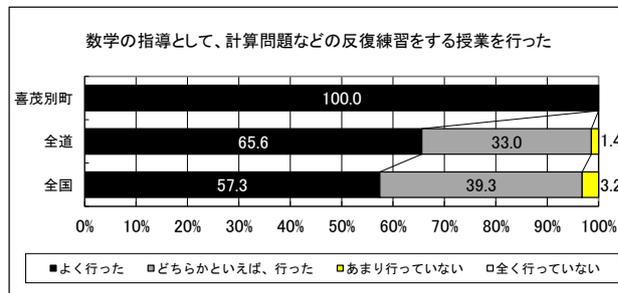
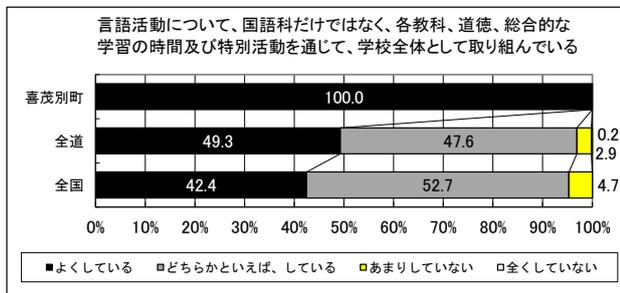
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んだことにより、「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合が全国を上回るとともに、国語では、全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分の考えを发表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して发表していた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行ったことにより、数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んでいる。 ○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った。 	

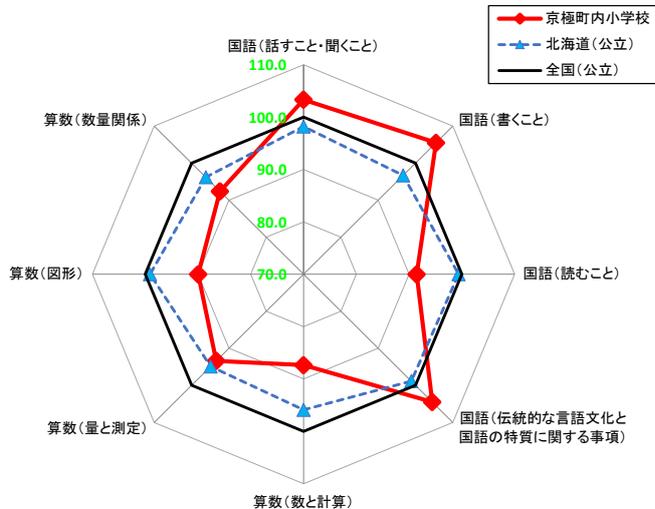
【喜茂別町の学力向上策】

- ◎ 学力や学習状況の把握・分析に基づく指導方法の改善
- ◎ 読書感想文コンクールによる読書活動の促進
- ◎ ICTを活用した授業づくりの実践・研究の推進

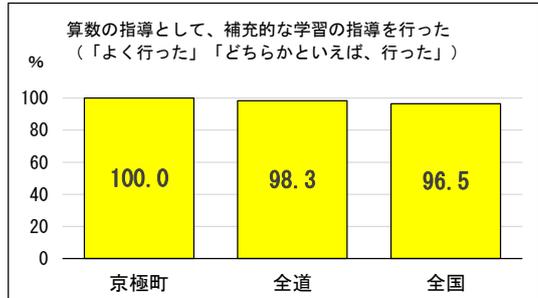
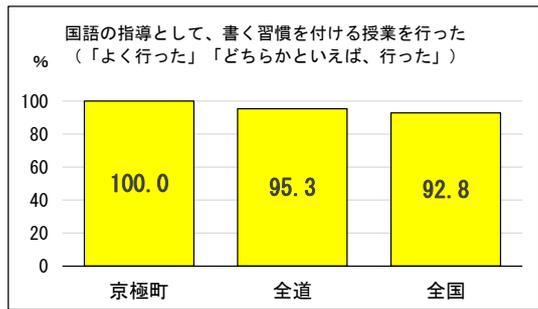
■京極町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:29人)

【教科全体の状況】

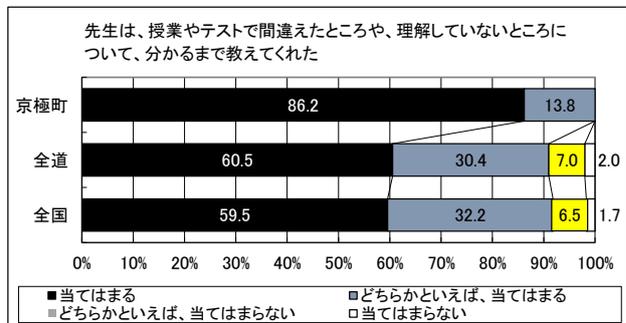
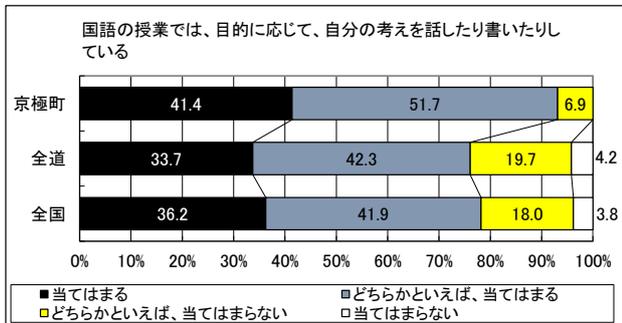
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国を上回っている。 ○ 算数では、「量と測定」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業をよく行ったことにより、「国語の授業では、目的に応じて自分の考えを話したり、書いたりした」と回答した児童の割合が全国を上回るとともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、「先生は、授業で間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が全国を上回るとともに、「量と測定」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業をよく行った。 ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 	

【京極町の学力向上策】

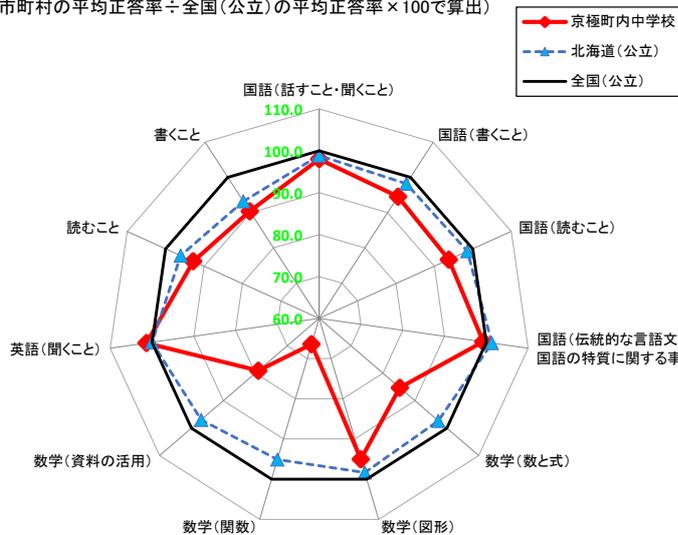
- ◎ 義務教育9年間を見通した学力向上のため、小中連携協議会における合同研修会、研究授業の継続的な取組の充実
- ◎ 学習の手引「きょうごくのこども」・「京極版生活リズムチェックシート」等による家庭学習習慣の定着、生活習慣の改善を図る取組の充実
- ◎ ICTを活用し、児童の情報活用能力の向上及び児童に分かりやすい資料提示の工夫を図った授業改善

■京極町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:32人)

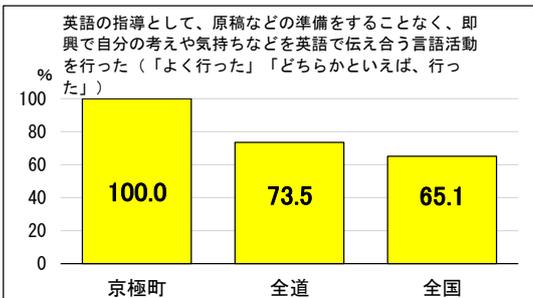
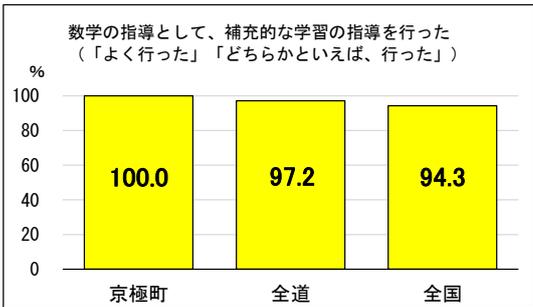
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

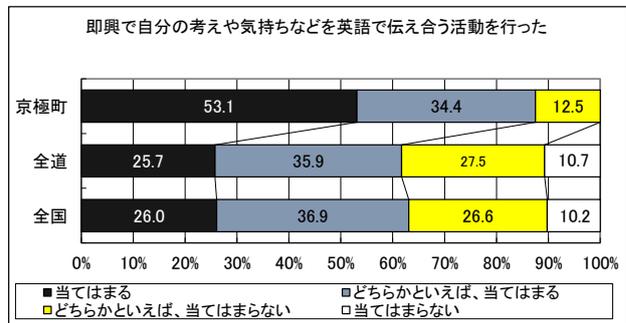
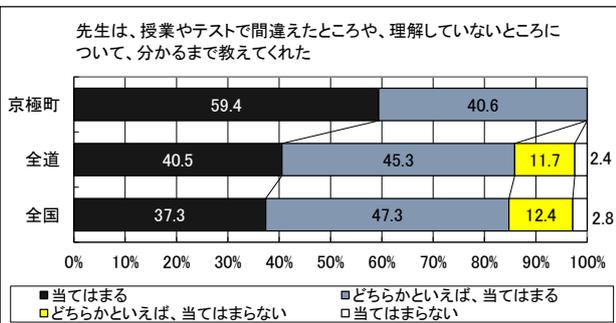
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として補充的な学習の指導をよく行ったことにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回るとともに、数学の「図形」で全国を最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動を行った」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の指導として、原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行ったことにより、「即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動を行った」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、英語の「聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 英語の指導として、原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行った。 	

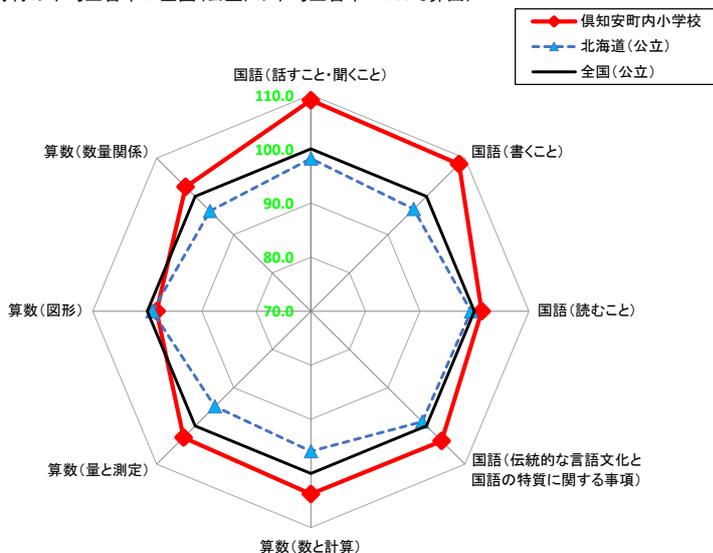
【京極町の学力向上策】

- ◎ 義務教育9年間を見通した学力向上のため、小中連携協議会における合同研修会、研究授業の継続的な取組の充実
- ◎ 学習の手引「きょうごくのこども」・「京極版生活リズムチェックシート」等による家庭学習習慣の定着、生活習慣の改善を図る取組の充実
- ◎ ICTを活用し、生徒の情報活用能力の向上及び生徒に分かりやすい資料提示の工夫を図った授業改善

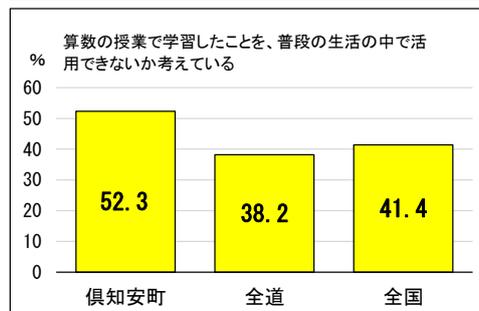
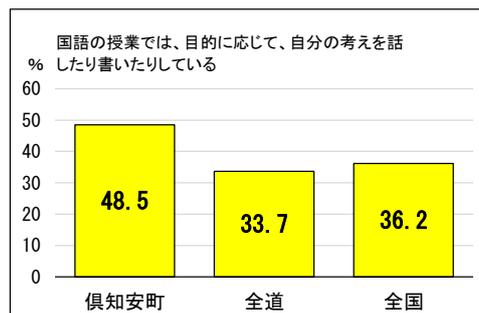
■ 倶知安町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 5校、児童数: 132人)

【教科全体の状況】

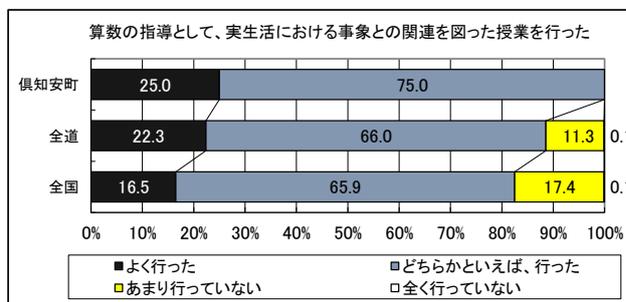
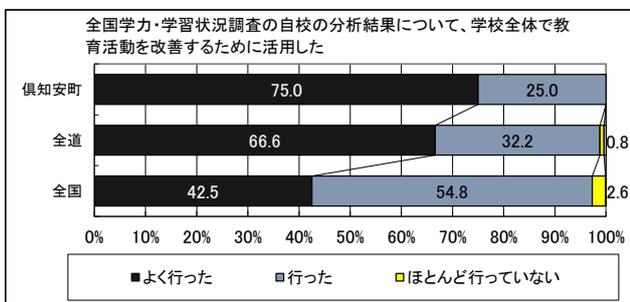
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」「量と測定」「数量関係」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、授業改善が図られ、国語及び算数の一部の領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

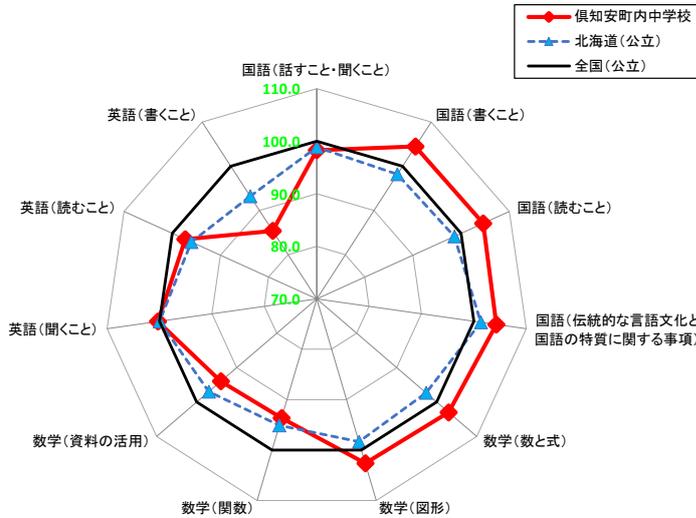
【倶知安町の学力向上策】

- ◎ 学校と連携した「学校力向上に関する総合実践事業」の推進
- ◎ 全町立学校における放課後補充学習や長期休業中のサポート学習の実施
- ◎ 英語専科教員による外国語指導の実施

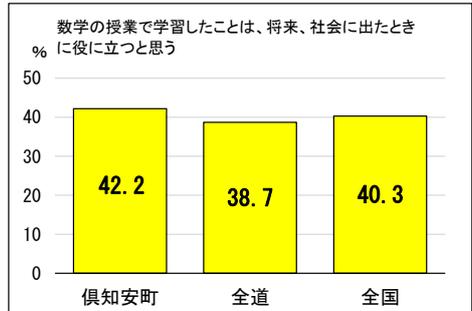
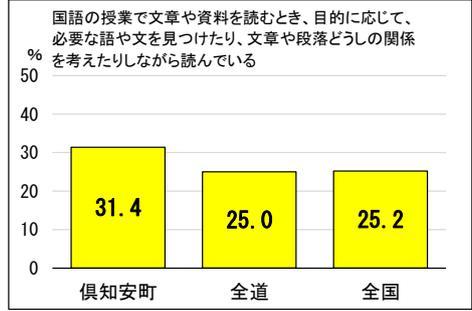
■ 倶知安町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:102人)

【教科全体の状況】

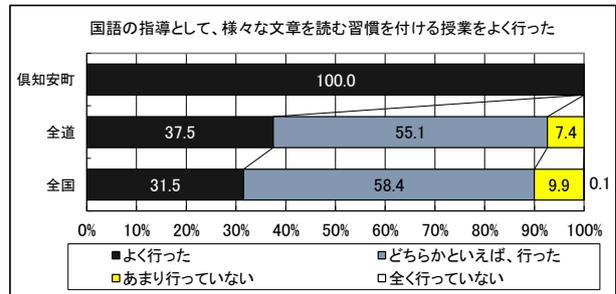
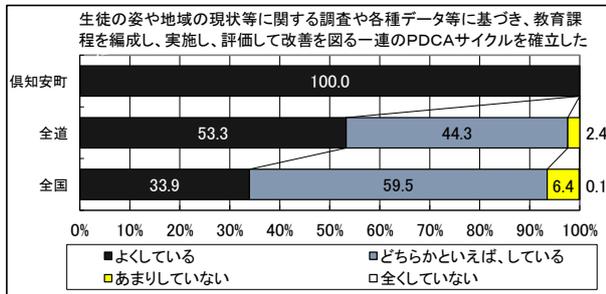
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回り、「読むこと」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立したことにより、授業改善が図られ、国語や数学、英語の一部の領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業をよく行ったことにより、「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立した。 ○ 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業をよく行った。 	

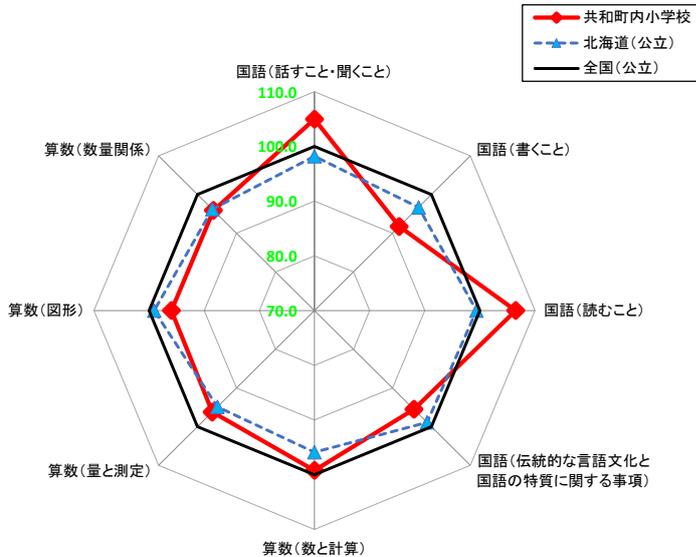
【倶知安町の学力向上策】

- ◎ 学校と連携した「学校力向上に関する総合実践事業」の推進
- ◎ 放課後補充学習や長期休業中のサポート学習の実施
- ◎ 学習規律の定着と習熟度別・少人数指導、T・T指導の充実

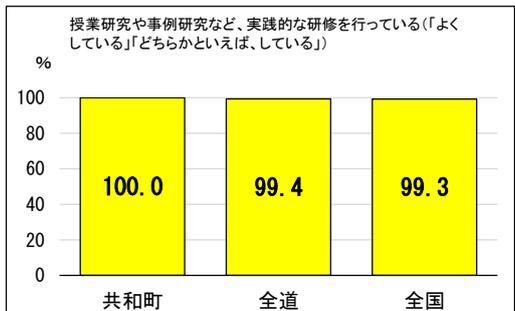
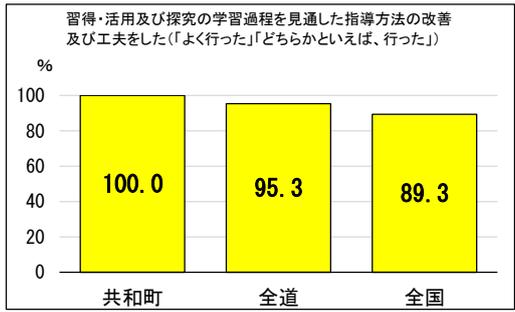
■ 共和町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 3校、児童数: 36人)

【教科全体の状況】

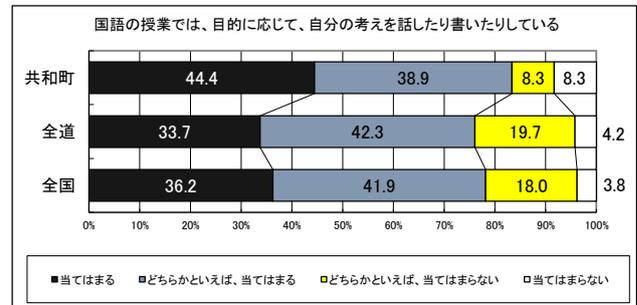
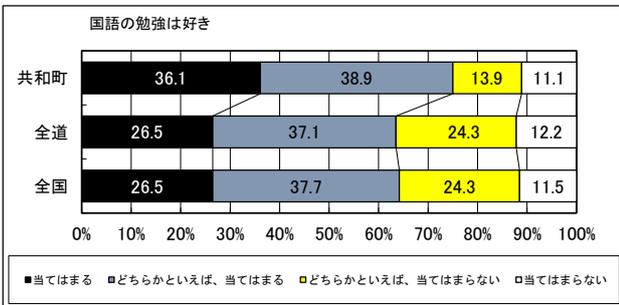
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」「量と測定」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたことにより、児童の学習意欲が高まり、「国語の勉強は好き」「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回るとともに、国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行ったことにより、授業改善が図られ、算数では、「数と計算」「量と測定」で全道を上回ったと考える。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

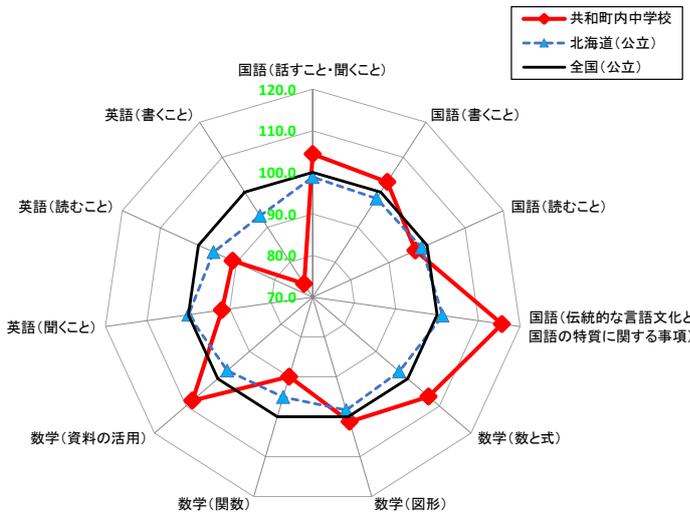
【共和町の学力向上策】

- ◎ 特別支援教育支援員の配置及び放課後学習サポート等、特別な教育的支援を必要とする児童への支援の充実
- ◎ 全国学力・学習状況調査を活用した授業改善及び望ましい家庭での生活習慣・学習習慣の定着に向けた取組の推進
- ◎ 外国語指導助手の専任配置による小学校における外国語教育の充実
- ◎ 基礎学力の定着に向けた長期休業中の補習サポート授業の実施
- ◎ ICTを活用した基礎学力の定着・向上に向けた取組の推進

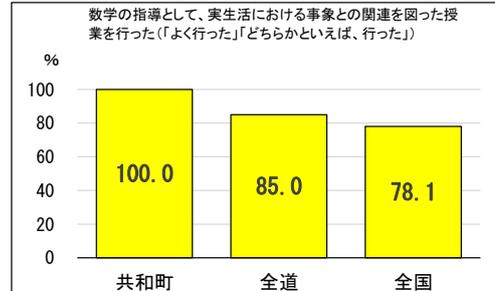
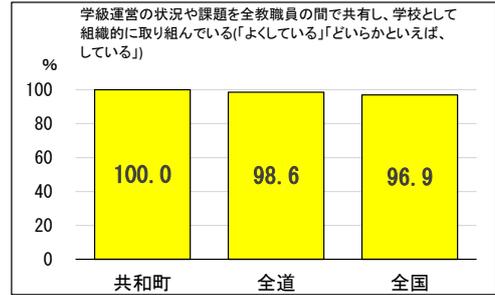
■ 共和町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、生徒数: 30人)

【教科全体の状況】

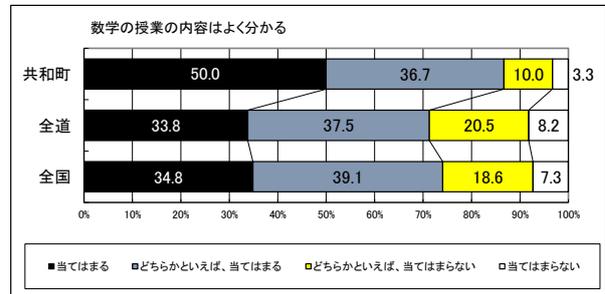
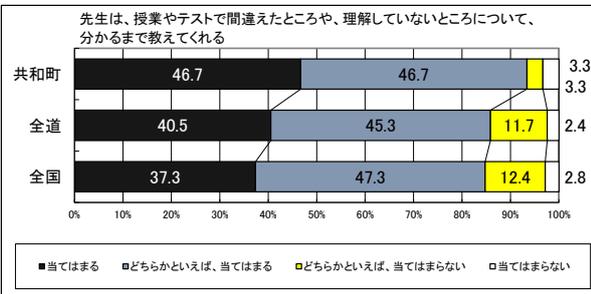
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回った。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回った。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んだ結果、組織的な授業改善も進み、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回った。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んだ。 ○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った。 	

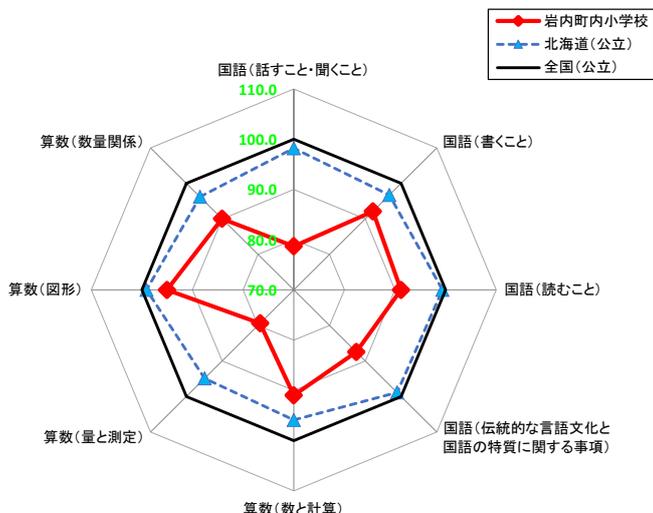
【共和町の学力向上策】

- ◎ 特別支援教育支援員の配置及び放課後学習サポート等、特別な教育的支援を必要とする生徒への支援の充実
- ◎ 全国学力・学習状況調査を活用した授業改善及び望ましい家庭での生活習慣・学習習慣の定着に向けた取組の推進
- ◎ 外国語指導助手の専任配置による中学校における外国語教育の充実
- ◎ 基礎学力の定着に向けた長期休業中の補習サポート授業の実施
- ◎ ICTを活用した基礎学力の定着・向上に向けた取組の推進

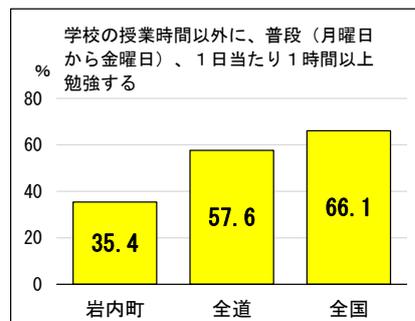
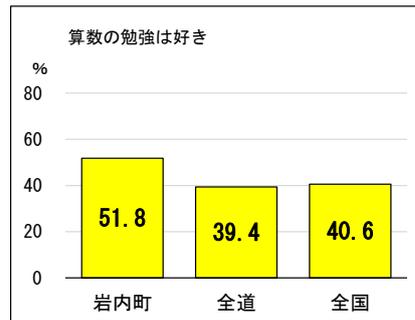
■岩内町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:85人)

【教科全体の状況】

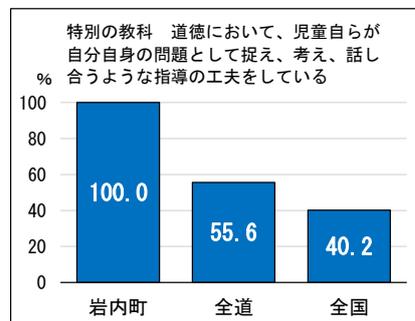
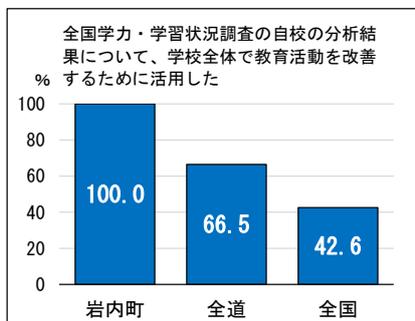
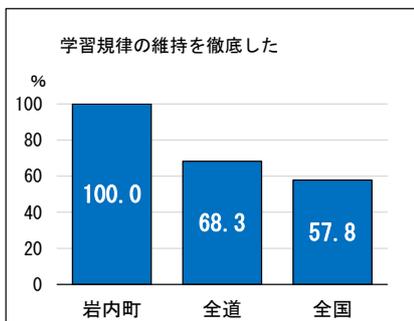
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩内町の小・中学校で学習規律の徹底を図るとともに、各校が全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、各教科の授業が充実し、「算数の勉強は好き」と回答した児童の割合が全国を上回ったり、国語や算数の一部で全国に近くなったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強する」と回答した児童の割合が、全国及び全道を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強する」と回答した児童の割合が低いことから、家庭と連携し、家庭学習の習慣化に向けた取組をより一層充実する必要があると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習規律の維持を徹底した」と回答とした割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答とした割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

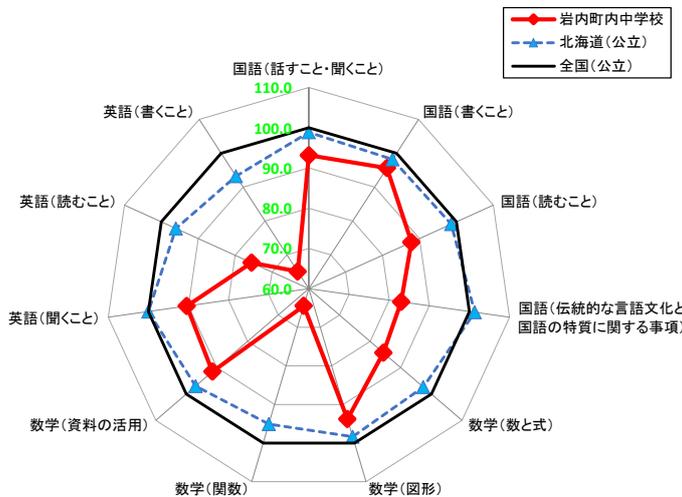
【岩内町の学力向上策】

- ◎ 小中一貫教育の推進
- ◎ 複数教員の配置による習熟度別少人数指導
- ◎ 基礎学力の定着を図るための学習支援員の配置
- ◎ ICTを効果的に活用した授業実践

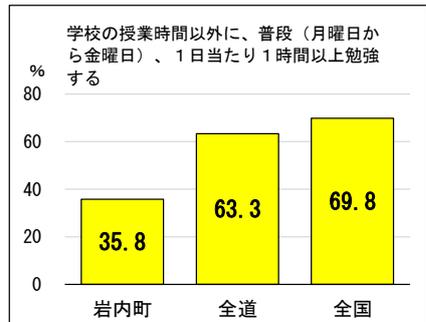
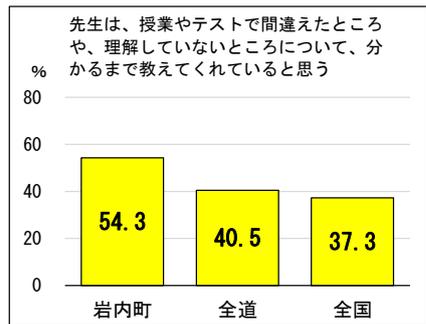
■岩内町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:81人)

【教科全体の状況】

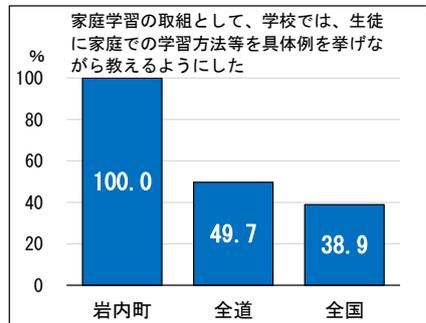
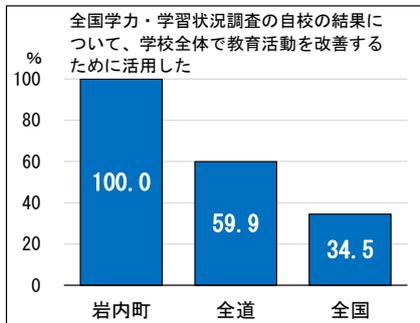
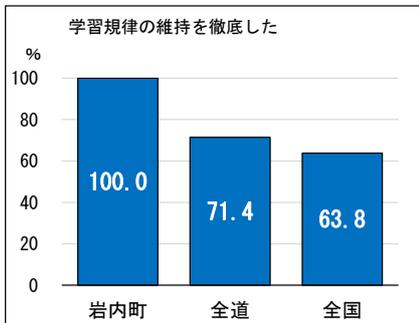
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩内町の小・中学校で学習規律の徹底を図るとともに、各校が全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用し、1人1人に丁寧な指導を心がけたことにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強する」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えたことにより、基礎的・基本的な学習内容が定着し、国語では、「書くこと」で、数学では、「図形」で、全国に最も近くなっていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習規律の維持を徹底した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

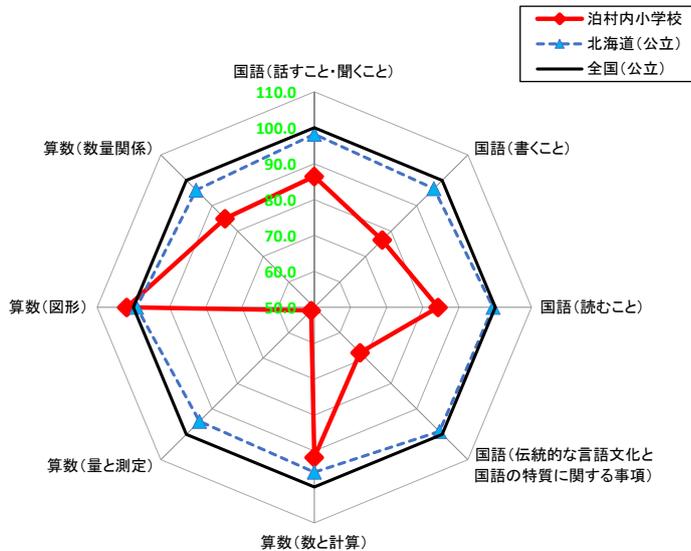
【岩内町の学力向上策】

- ◎ 小中一貫教育の推進
- ◎ 複数教員の配置による習熟度別少人数指導
- ◎ ICTを効果的に活用した授業実践

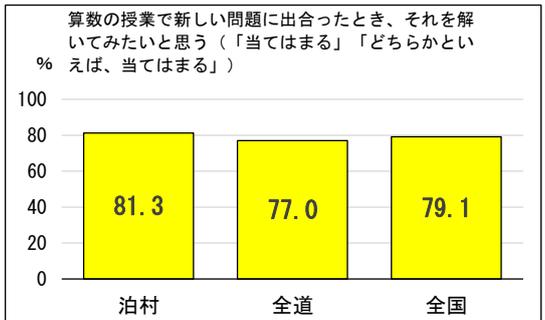
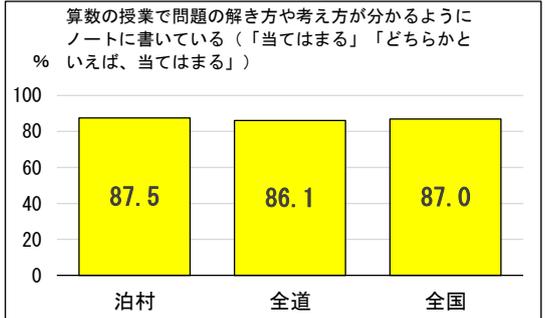
■ 泊村内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、児童数: 16人)

【教科全体の状況】

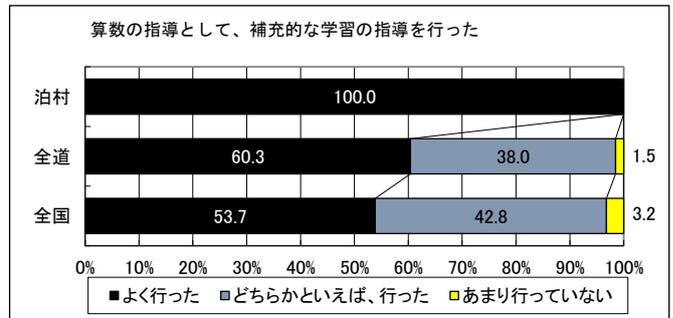
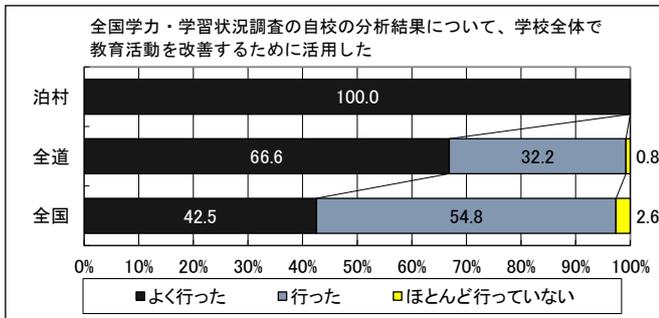
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
算数	○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。
児童質問紙	○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するためによく活用した。 ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。
総合	○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用し、授業改善を図ったことにより、算数では、「図形」で全国を上回ったと考えられる。 ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、児童は様々な問題に自ら挑戦するようになり、「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

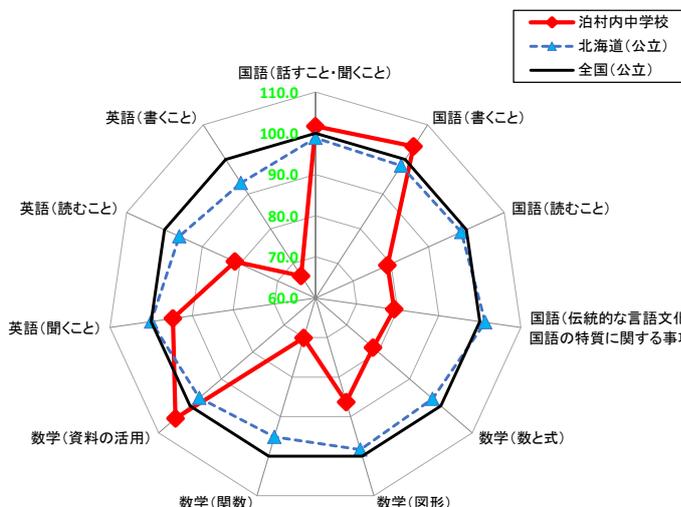
【泊村の学力向上策】

- ◎ 長期休業中の学びの教室や学習会の継続
- ◎ 児童の英語力の向上とコミュニケーション能力の向上に向けた外国語指導助手の派遣
- ◎ 個々の能力・適性に応じたきめ細かな指導の充実

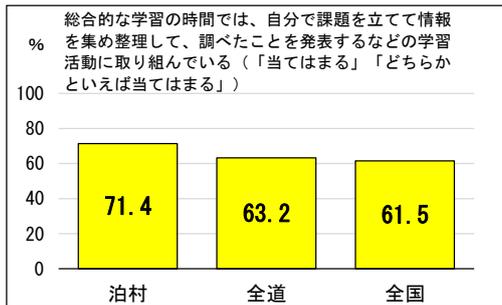
■泊村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:14人)

【教科全体の状況】

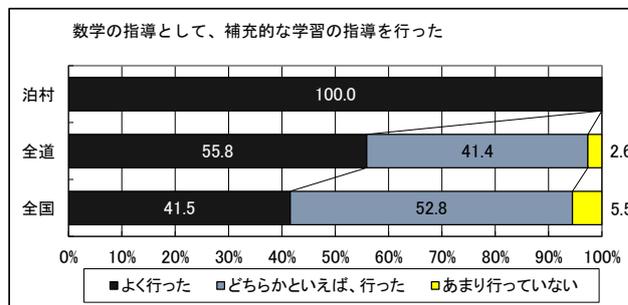
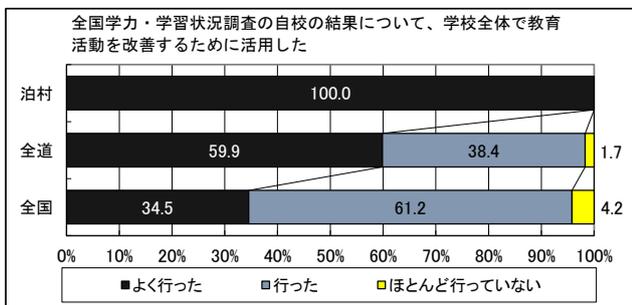
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用し、授業改善が図られたことにより、国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「先生は、よいところを認めてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、資料を読み取る力が高まり、数学では、「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、学校全体で教育活動を改善するためによく活用した。 ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 	

【泊村の学力向上策】

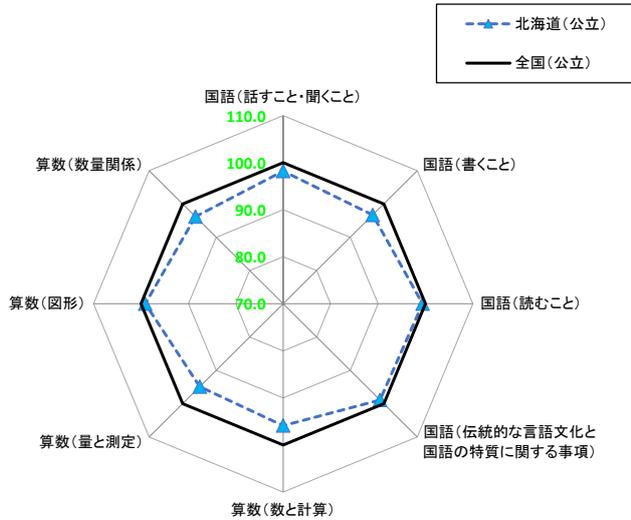
- ◎ 長期休業中の学習会を工夫し、継続して実施
- ◎ 生徒の英語力の向上とコミュニケーション能力の向上に向けた外国語指導助手の派遣
- ◎ 個々の能力・適性に応じたきめ細かな指導(基礎基本の定着に向けた個別指導)と校内研修の充実

■ 神恵内村内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:8人)

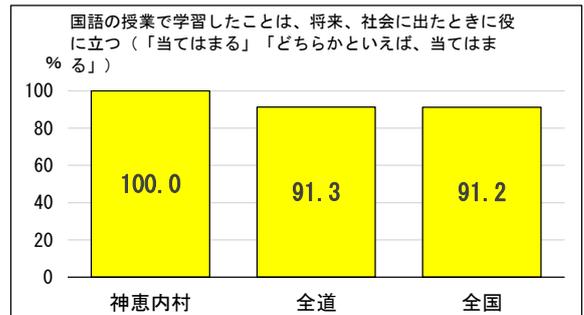
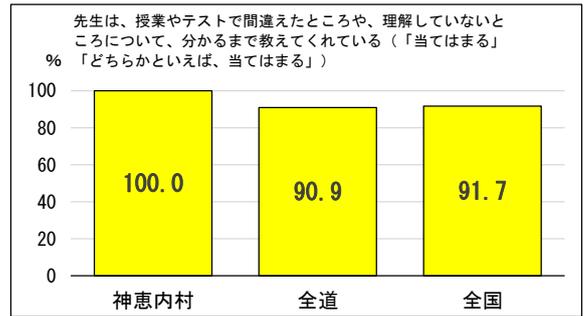
※児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、神恵内村の教科データは掲載していない。

【教科全体の状況】

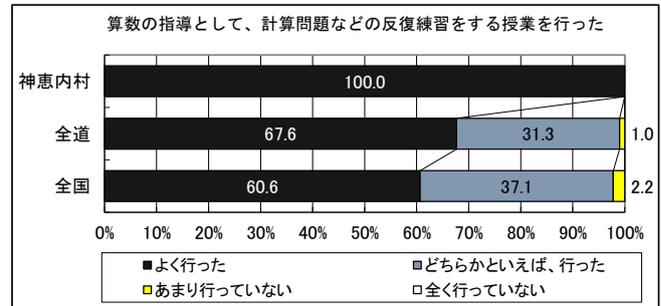
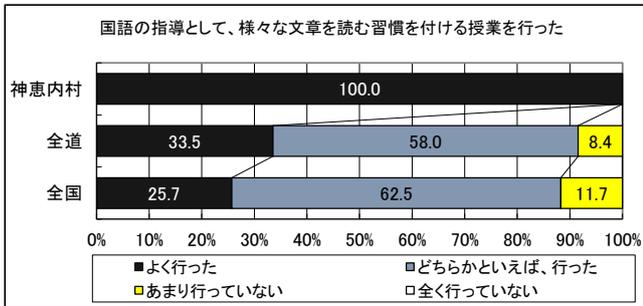
教科の領域別に全国を100とした場合の全道の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、神恵内村の教科のデータは掲載していない。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業をよく行った。 ○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った。

【神恵内村の学力向上策】

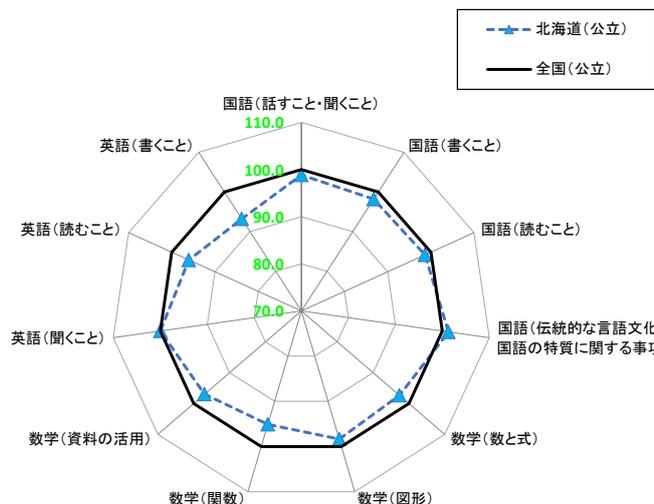
- ◎ 小中連携による義務教育9年間を見通した一貫教育の体制づくりの推進
- ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得及び授業と連動した家庭学習の定着化
- ◎ 特別支援教育の体制を充実するなど、児童に対するきめ細やかな教育・指導体制の整備

■神恵内村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:6人)

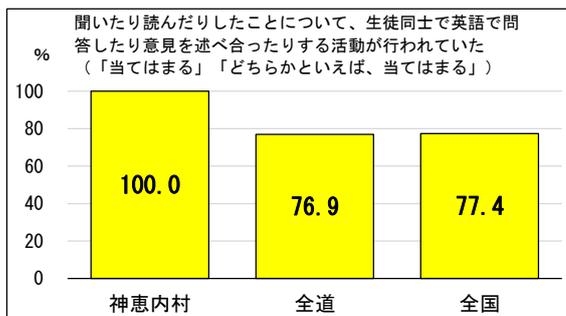
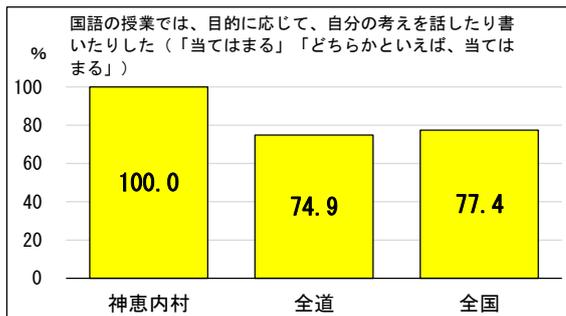
※生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、神恵内村の教科データは掲載していない。

【教科全体の状況】

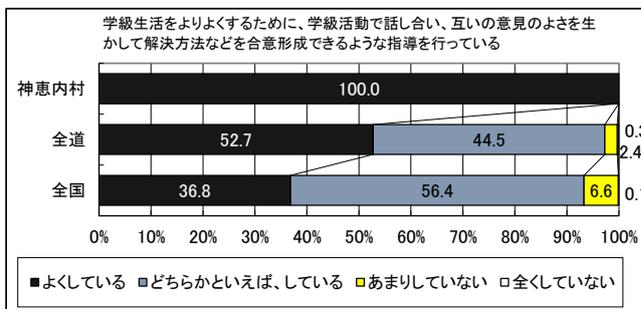
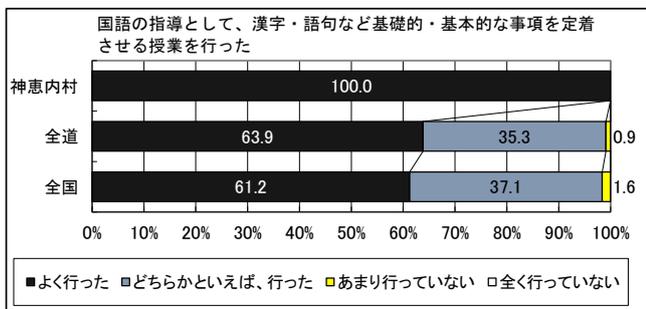
教科の領域別に全国を100とした場合の全道の状況をレーダーチャートで示したもの(全道の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、神恵内村の教科のデータは掲載していない。	
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりした」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。 ○ 「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行ったことにより、授業改善が図られ、国語における基礎的・基本的な力が定着したと考えられる。 ○ 学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導をよく行ったことにより、授業中においても生徒が互いの考えを認め合い、学びが深まったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った。 ○ 学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導をよく行った。 	

【神恵内村の学力向上策】

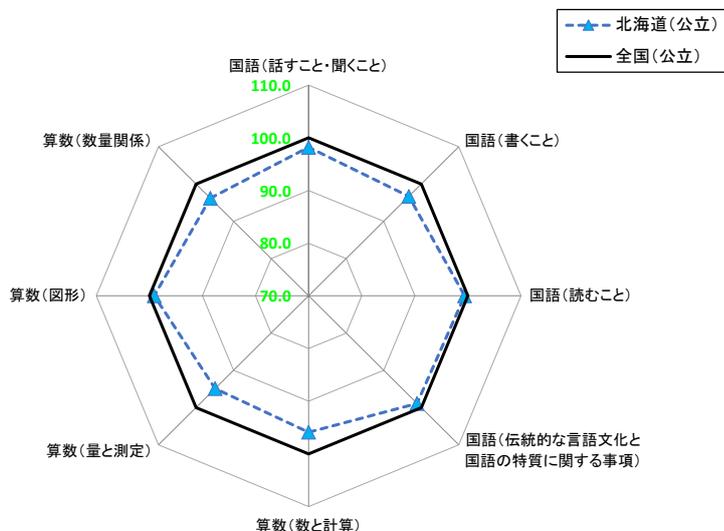
- ◎ 小中連携による義務教育9年間を見通した一貫教育の体制づくりの推進
- ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得及び授業と連動した家庭学習の定着化
- ◎ 特別支援教育体制を充実するなど、生徒に対するきめ細かな教育・指導体制の整備

■ 積丹町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:7人)

※児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、積丹町の教科データは掲載していない。

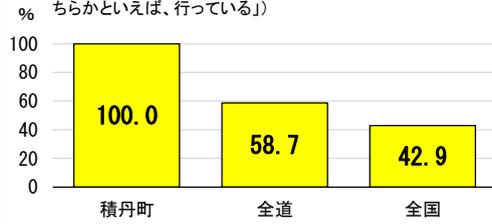
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

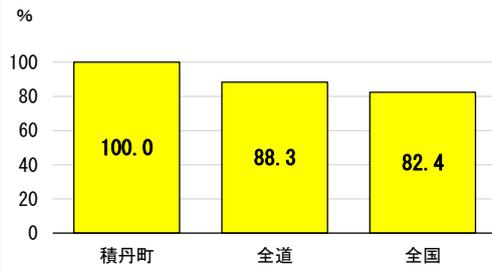


【学校質問紙調査】

全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った(「よく行っている」「どちらかといえば、行っている」)

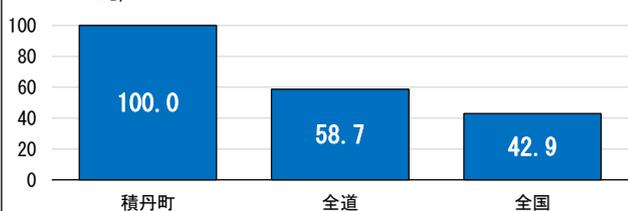


算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った(「よく行った」「どちらかといえば、行った」)

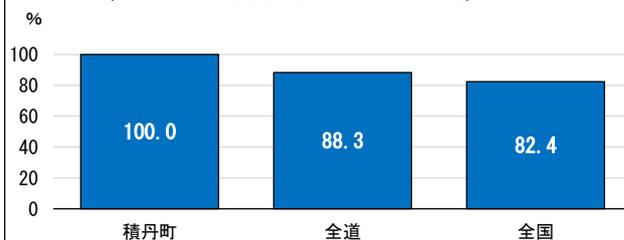


【児童質問紙調査】

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」)



算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」)



【分析】

教科	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、積丹町の教科のデータは掲載していない。	
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映など、児童の実態に合わせた丁寧な指導を行ったことにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った。 ○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

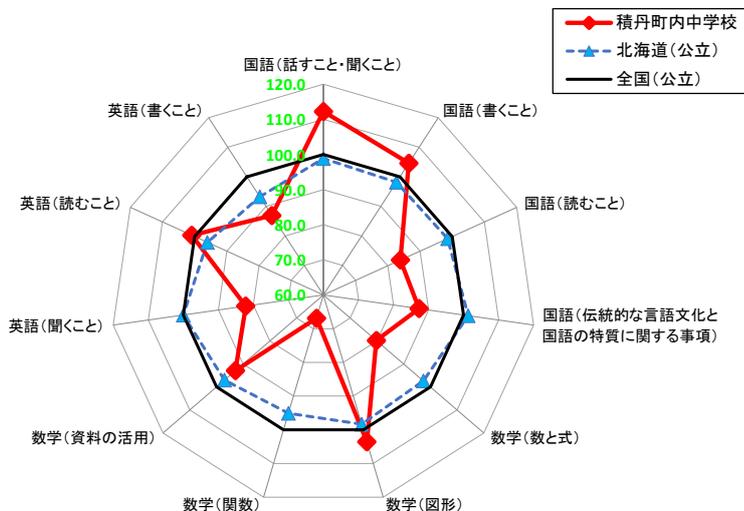
【積丹町の学力向上策】

- ◎ 家庭学習の習慣化を図る取組や補足的な学習の実施
- ◎ T・Tや少人数指導など、きめ細かな指導の継続
- ◎ 社会教育事業と連携した長期休業中の学習習慣の定着に向けた「朝活どう場」の実施

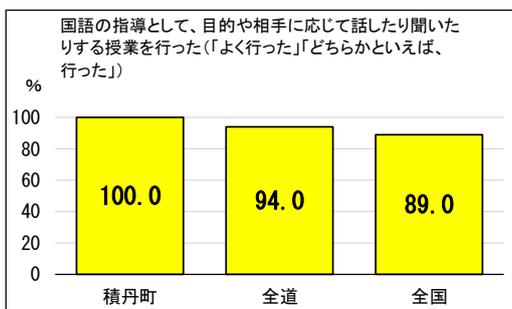
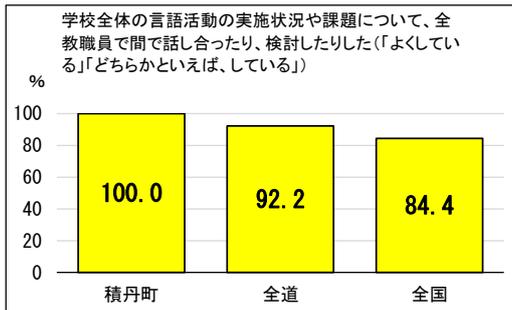
■積丹町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:11人)

【教科全体の状況】

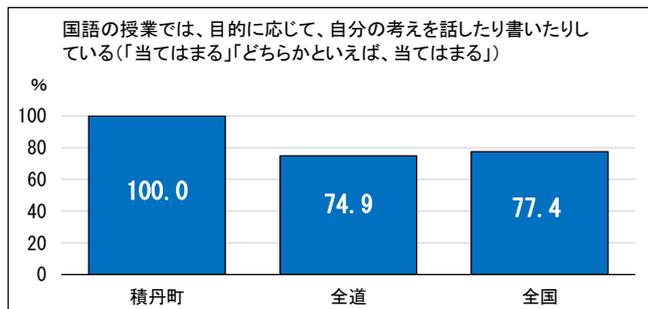
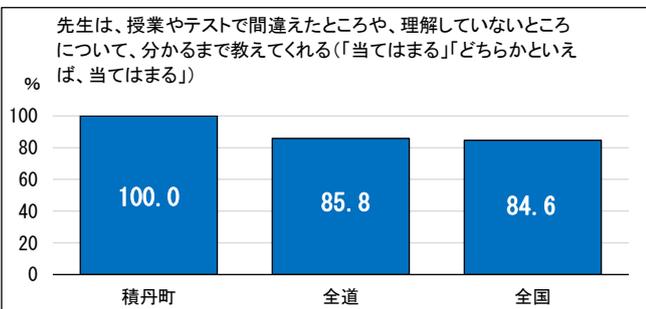
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「図形」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「読むこと」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員で間で話し合ったり、検討したりして、各教科で授業改善が図られたことにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語では、「話すこと・聞くこと」、英語では、「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員で間で話し合ったり、検討したりした。 ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った。 	

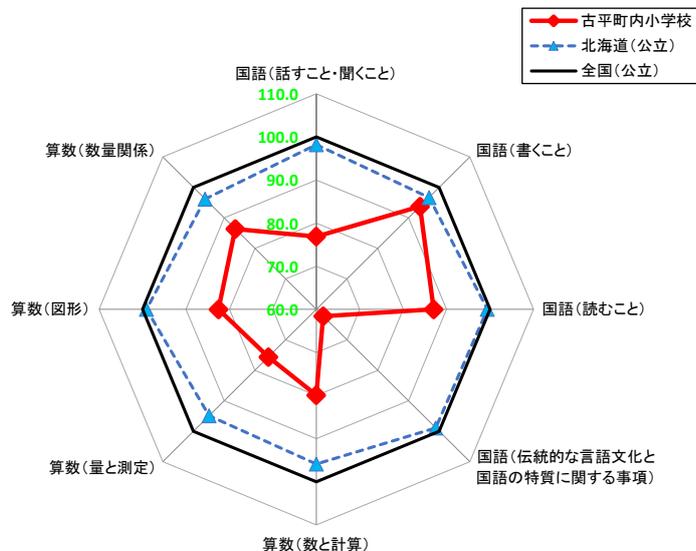
【積丹町の学力向上策】

- ◎ 家庭学習の習慣化を図る取組や補足的な学習の実施
- ◎ T・Tや少人数指導など、きめ細かな指導の継続
- ◎ 社会教育事業と連携した長期休業中の学習習慣の定着に向けた「朝活どう場」の実施

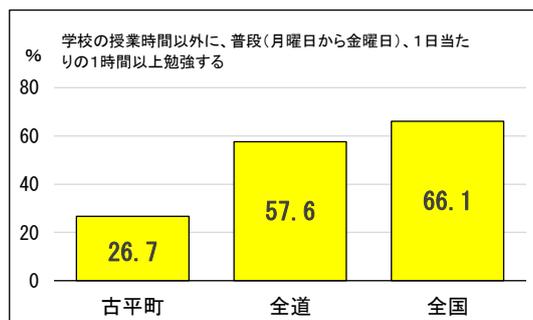
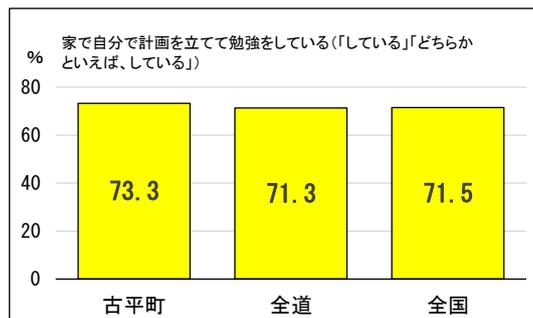
■古平町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:15人)

【教科全体の状況】

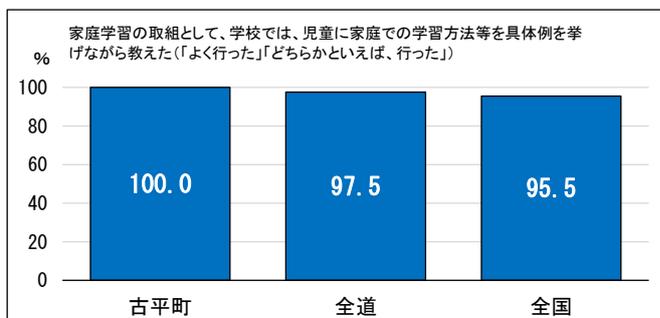
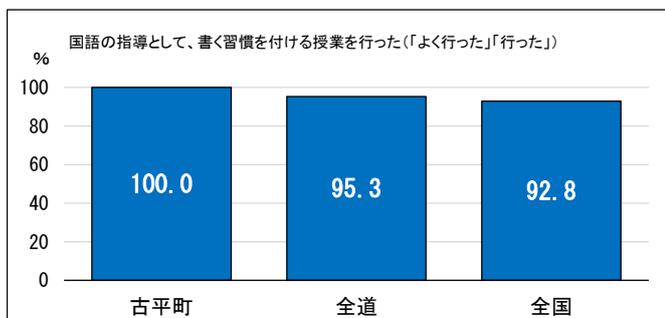
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったことにより、国語では、「書くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強する児童の割合が、全国及び全道を下回っている。	○ 家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えることにより、児童の家庭学習への意欲が高まり、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられるが、1日当たりの勉強時間が短いことから、家庭と一層連携して家庭学習の習慣化を図る必要がある。
学校質問紙	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業をよく行った。 ○ 家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながらよく教えた。	

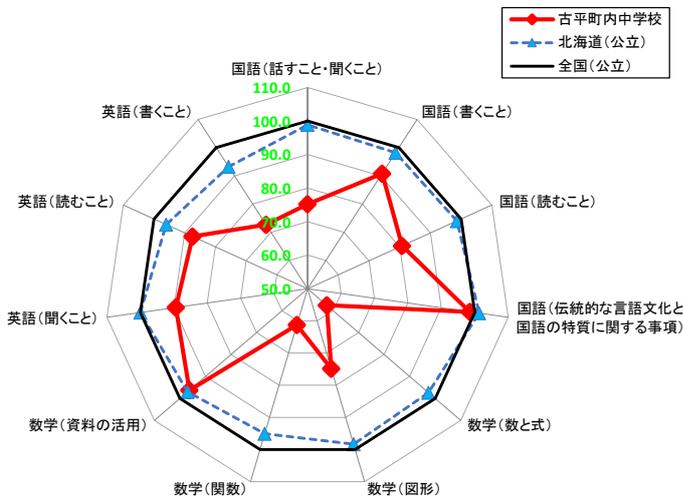
【古平町の学力向上策】

- ◎ 基礎・基本の定着を図る指導の充実
- ◎ 家庭学習の習慣化に向けた取組の推進
- ◎ 放課後ふるびら塾の実施

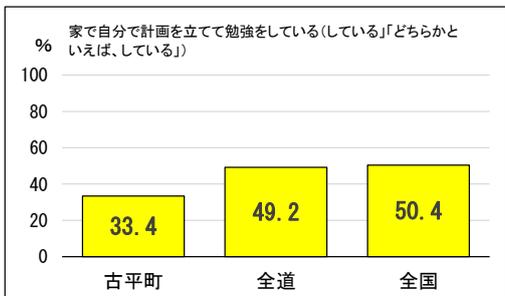
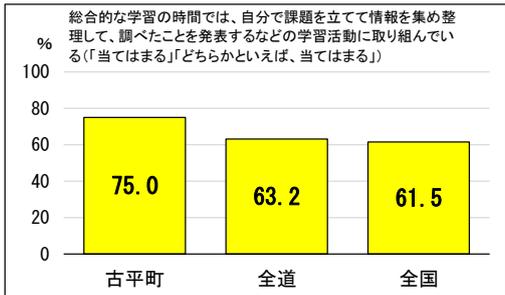
■古平町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:12人)

【教科全体の状況】

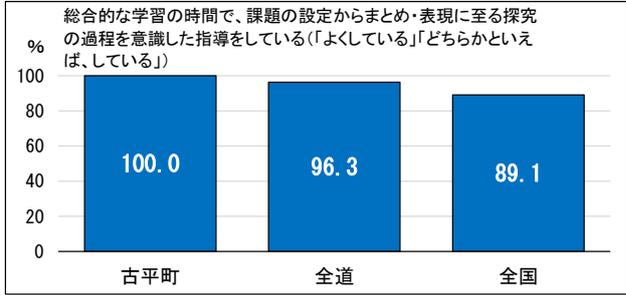
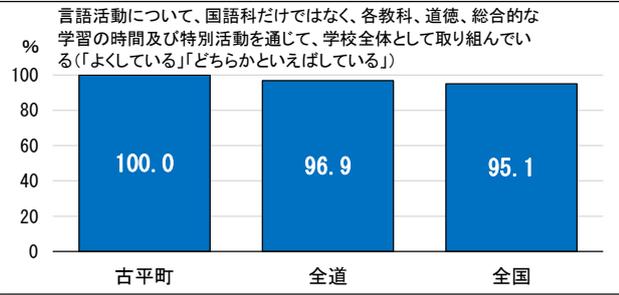
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動等を通じて、学校全体として取り組んだことにより、国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全道を上回り、数学では、「資料の活用」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 家で自分で計画を立てて勉強していると回答した生徒の割合が、全国及び全道を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしたことにより、探究的な学習への意欲が高まり、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んでいる。 ○ 総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をよくしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で自分で計画を立てて勉強していると回答した生徒の割合が、全国及び全道を下回っていることから、保護者と一層連携して、家庭学習の習慣化に取り組む必要がある。

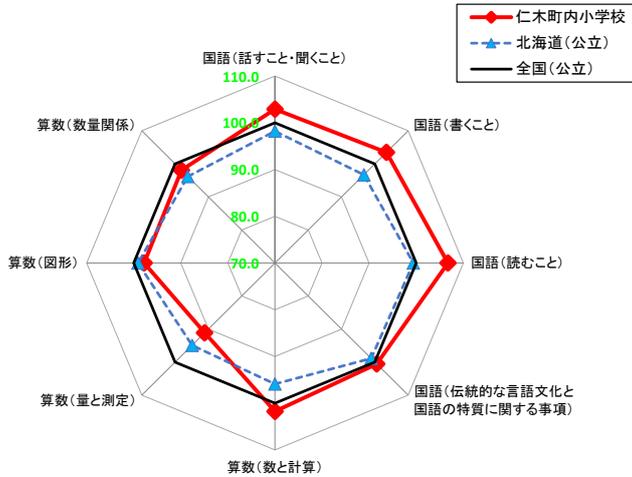
【古平町の学力向上策】

- ◎ 基礎・基本の定着を図る指導の充実
- ◎ 家庭学習の習慣化に向けた取組の推進
- ◎ 放課後ふるびら塾の実施

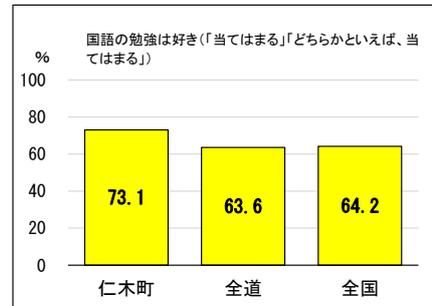
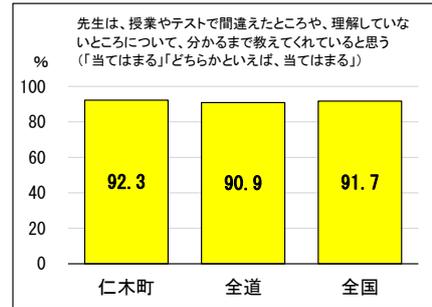
■仁木町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:26人)

【教科全体の状況】

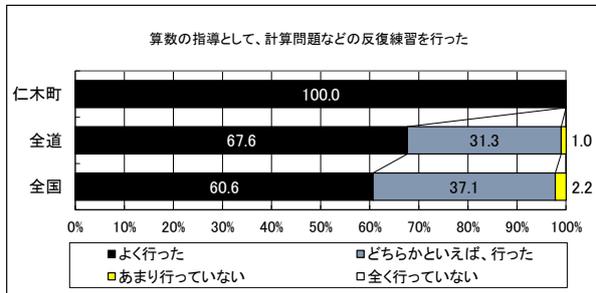
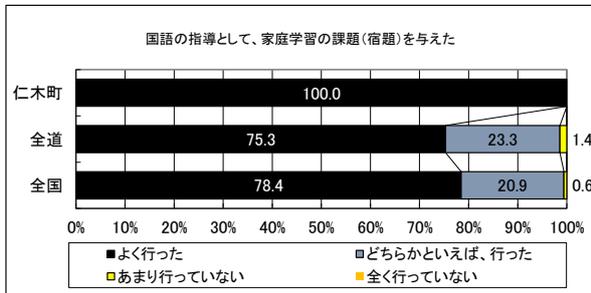
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (全道の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」で全国を上回り、「数量関係」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えたり、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えたりするなど、一人一人の児童が理解できるように丁寧に指導したことにより、「国語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語では、全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 ○ 「国語の勉強は好き」と回答した児童の割合は、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習を行うなど、授業の充実を図ったことにより、算数では、「数と計算」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 	

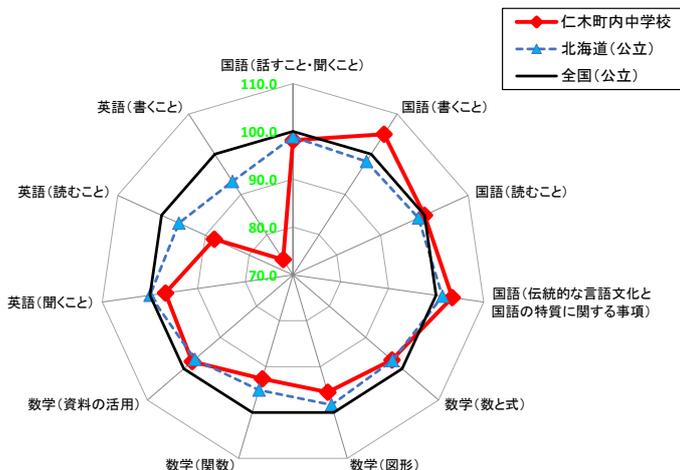
【仁木町の学力向上策】

- ◎ 児童生徒の学力向上や適応指導の充実のため学校力向上支援員の配置
- ◎ 外国語指導助手(ALT)の活用
- ◎ 家庭学習をサポートするeラーニングシステムの活用
- ◎ 教育的配慮が必要な児童生徒に対し、個々に応じたきめ細やかな教育を進めるため特別支援教育支援員の配置

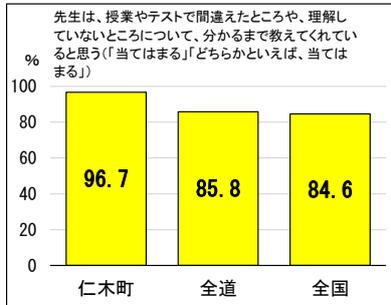
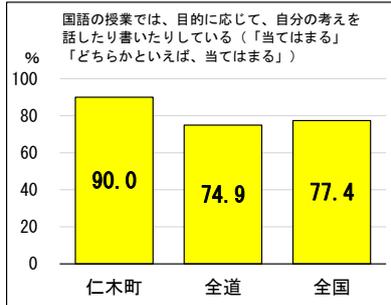
■仁木町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:30人)

【教科全体の状況】

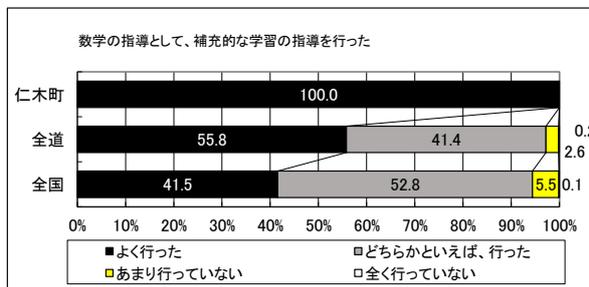
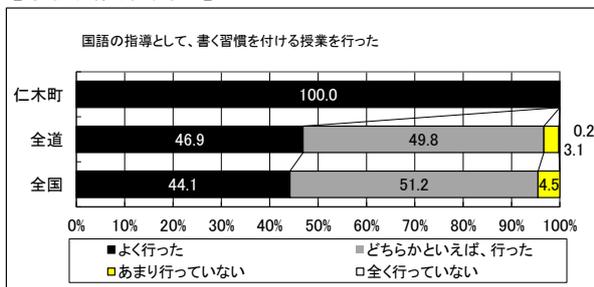
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全道を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で最も全国に近づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を充実させたことにより、「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりする」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語では、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりする」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行い、一人一人の生徒が理解できるように丁寧に指導したことにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 	

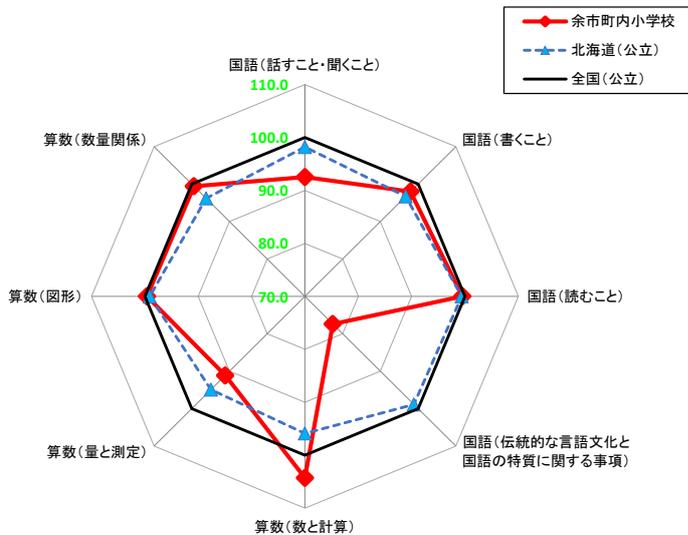
【仁木町の学力向上策】

- ◎ 児童生徒の学力向上や適応指導の充実のため学校力向上支援員の配置
- ◎ 外国語指導助手(ALT)の活用
- ◎ 家庭学習をサポートするeラーニングシステムの活用
- ◎ 教育的配慮が必要な児童生徒に対し、個々に応じたきめ細やかな教育を進めるため特別支援教育支援員の配置

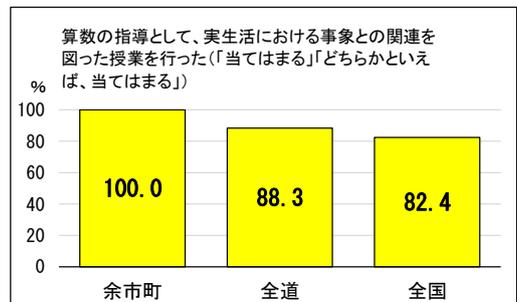
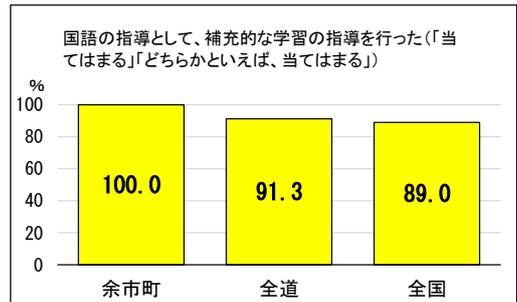
余市町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:146人)

【教科全体の状況】

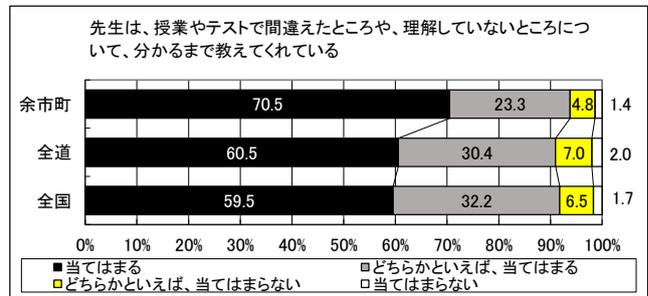
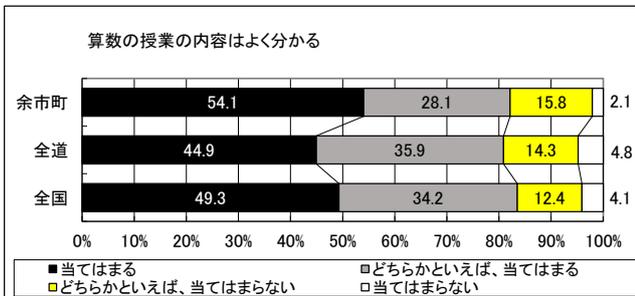
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「書くこと」「読むこと」で全道を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」で全国を上回り、「図形」「数量関係」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、補充的な学習の指導を行うとともに、児童が分かるまで丁寧に指導したことにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回り、国語の「書くこと」「読むこと」で全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、算数の「数と計算」で全国を上回り、「図形」「数量関係」で全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

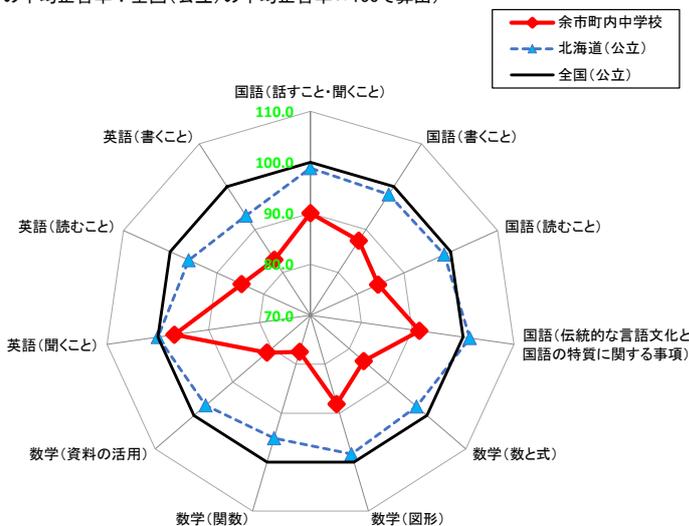
【余市町の学力向上策】

- ◎ ICT機器を活用した情報活用能力を育成する教育の展開
- ◎ 外国語指導助手を活用した生きた英語による児童生徒のコミュニケーション能力と国際感覚の養成
- ◎ 小・中学校の連携を強化し、教育の連続性の確保に向けた学校間の情報交流の促進

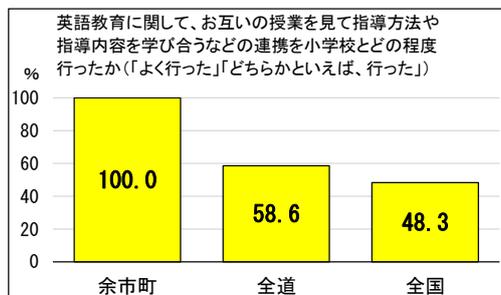
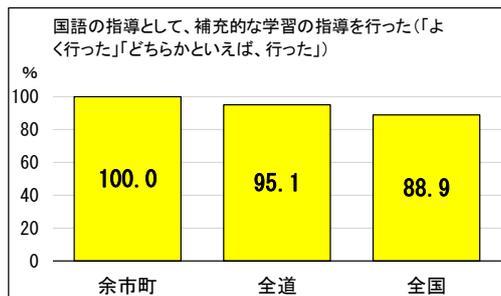
余市町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:135人)

【教科全体の状況】

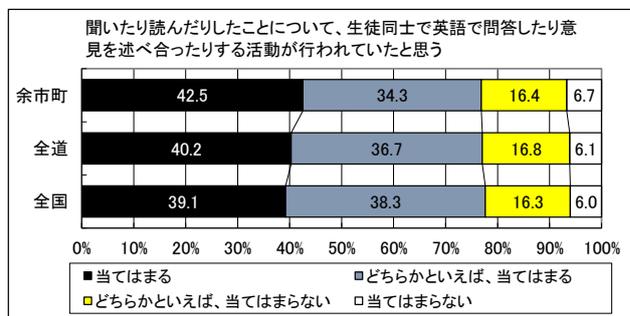
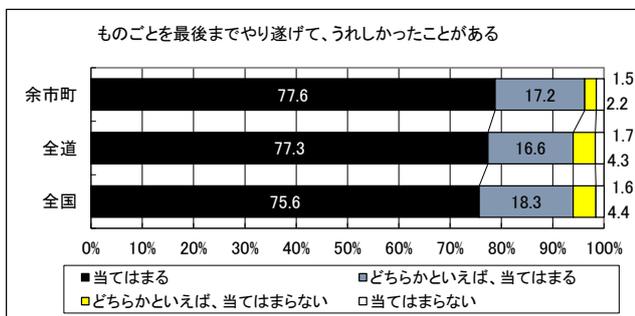
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、授業改善が図られ、国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ものごとを最後までやり遂げ、うれしかったことがある」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校と行ったことにより、授業改善が図られ、「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とどの程度行ったか」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【余市町の学力向上策】

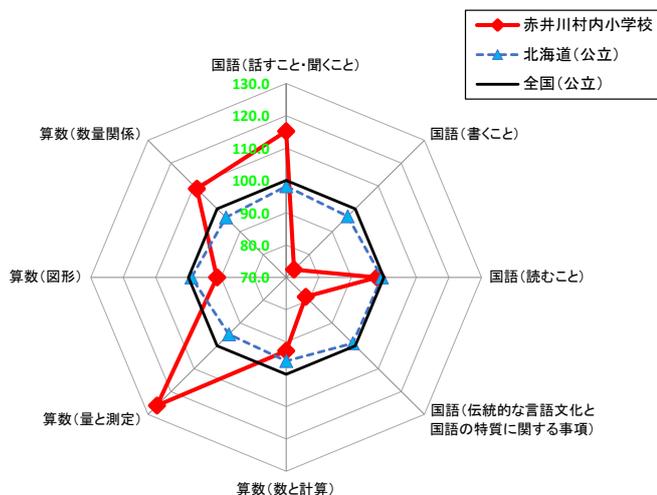
- ◎ ICT機器を活用した情報活用能力を育成する教育の展開
- ◎ 外国語指導助手を活用した生きた英語による児童生徒のコミュニケーション能力と国際感覚の養成
- ◎ 小・中学校の連携を強化し、教育の連続性の確保に向けた学校間の情報交流の促進

■赤井川村内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:10人)

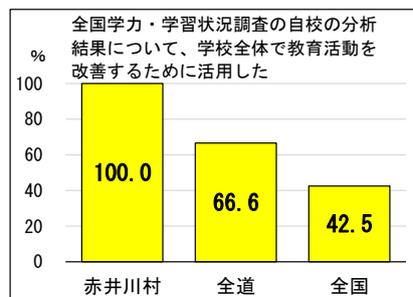
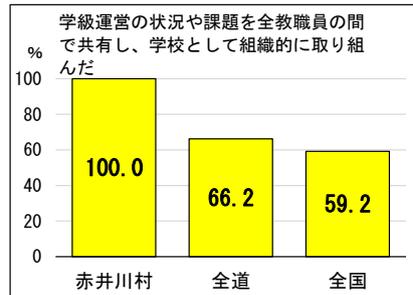
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

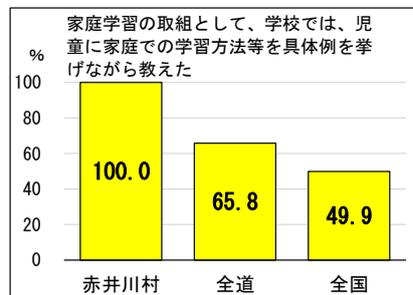
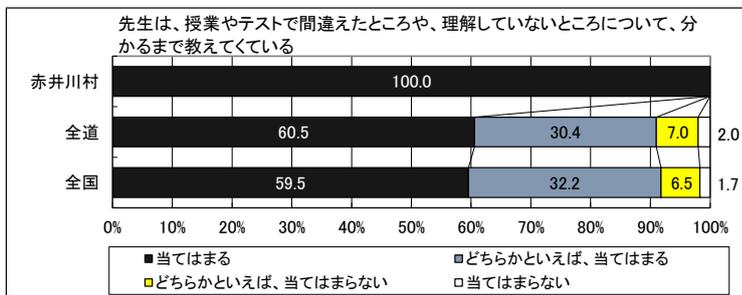
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「量と測定」「数量関係」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んだり、全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用したりしたことにより、児童の学力向上が図られたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人の児童が理解できるように丁寧に指導したことにより、国語及び算数の一部の領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んだ」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えたことにより、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。

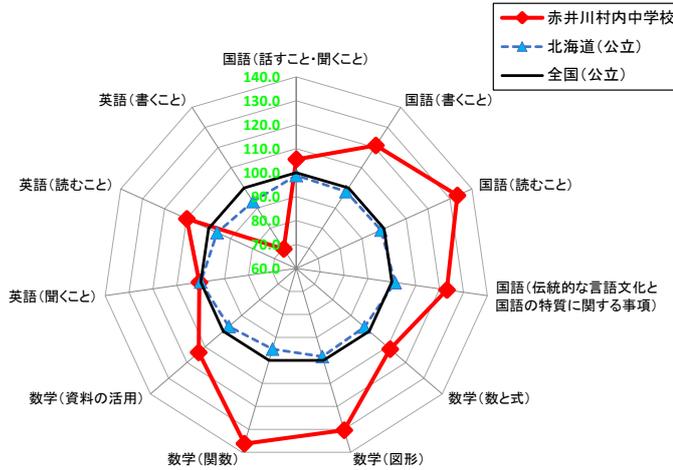
【赤井川村の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果やチャレンジテストなどを活用した学習指導の充実
- ◎ 実態や学校評価結果等から導き出された課題に即した学校改善プランによる数値目標の設定
- ◎ ノート指導の徹底と基本的学習規律の定着
- ◎ 放課後や長期休業中における補充学習の充実

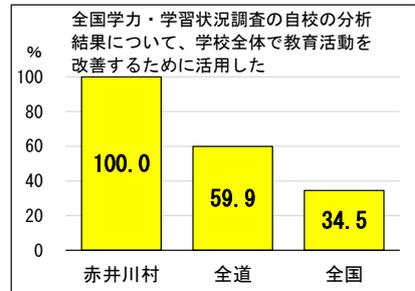
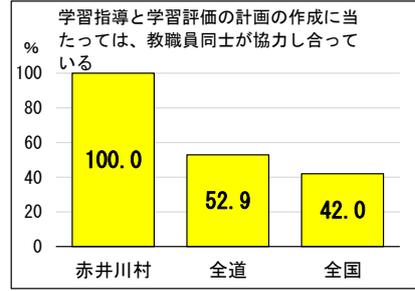
■赤井川村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:9人)

【教科全体の状況】

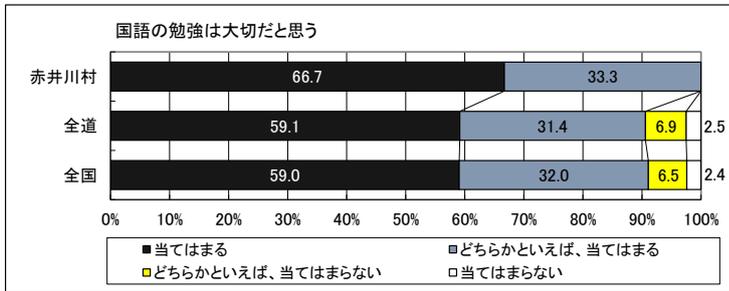
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合うとともに、全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するためによく活用したことにより、国語及び数学では全ての領域で全国を上回り、英語では、「聞くこと」「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、学習内容の確実な定着が図られ、国語科の授業が充実し、「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士がよく協力し合っている。 ○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するためによく活用している。 ○ 国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行っている。 	

【赤井川村の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果やチャレンジテストなどを活用した学習指導の充実
- ◎ 実態や学校評価結果等から導き出された課題に即した学校改善プランによる数値目標の設定
- ◎ ノート指導の徹底と基本的学習規律の定着
- ◎ 放課後や長期休業中における補充学習の充実